

DocWays AutoFAX

for ApeosWare Flow Management

Ver1.1

ユーザーズマニュアル

エイセル株式会社

- Microsoft および、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
- ・DocWays は、エイセル株式会社の登録商標です。
- ・DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management は、エイセル株式会社の商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または、商標です。
- ・なお、本文中では、TM、Rマークは明記しておりません。

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。

②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡 ください。

また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品 および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されること があります。

はじめに	1
1. 特長	2
1.1 本ソフトウェアで実現可能なFAX送信ソリューション	3
2. 動作環境とソフトウェア構成	6
2.1 動作環境2.2 ソフトウェア構成	6 9
3. インストール	10
3.1 新規インストール3.2 上書きインストール	10 15
4. アンインストール	18
5. 使い方	22
5.1 DocWaysの宛先フォルダーを作成する	
5.2 ApeosWare Flow Managementにフローを追加する	25
5.3 追加したフローにFAX送信を行うための基本情報を設定する	
5.4 FAX送信する文書の内容について設定する	
6. 画面の説明	31
6.1 [基本情報] タブ	
6.1.1 「DocWaysサーバー名設定」画面	
6.1.2 「CSV形式ファイル選択」画面	
6.2 [文書情報] タブ	
6.2.1 「テンプレート文書選択」画面	53
6.2.2 「コメントの設定」画面	
6.2.3 「フォント設定」画面	59
 6.3 [バージョン情報] タブ 	61
7. 実行結果ログ	62
7.1 実行結果ログ一覧	
8. 注意/制限事項	70
8.1 FAX番号について	

8.2	処理可能な文書ファイルについて	. 70
8.3	DocWays-共有フォルダー/宛先フォルダーについて	. 71
8.4	DocWays-使用するFAXプリンタの注意事項	. 71
8.5	Internet Explorerからのアップロードの注意事項	. 71
8.6	CSV形式ファイル読み込みに関する注意事項	71
8.7	DocWaysの宛先フォルダーについて	. 72
8.8	「DocWays AutoFAX設定」画面が開かない場合	. 73
8.9	ファイルのダウンロード機能について	. 74
8.10	SMBプロトコルについて	. 74
8.11	ドメイン環境に関する注意事項	. 74

はじめに.....

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management は、富士フイルムビジネスイノベ ーション㈱製の ApeosWare Flow Management の配信先として機能するソフトウェアです。 DocWays と連携することによって複合機を活用した自動 FAX 送信/返信を実現します。

このマニュアルを使用して、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の使 い方、機能を習得できます。

1. 特長

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の特長について説明します。

1. 動作概要

- DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementは、富士フイルムビジネス イノベーション㈱製のApeosWare Flow Managementの配信先機能として動作し ます。
- ・ApeosWare Flow ManagementとDocWaysを連携することによって、複合機を活 用したFAX送信/返信ソリューションを実現します。

2. 主な機能

- ・ApeosWare Flow Managementが取り込んだ文書をDocWaysへ通知し、DocWays のFAX送信業務に対してFAX送信することができます。
- ・DocWaysを使用して、大量の文書を自動的にFAX送信することができます。
- ・既存の宛先変換情報を使用してFAX送信することができます。
- ・FAX送信する文書に、任意のコメントを付加してFAX送信することができます。
- ・同報FAX送信を行うことができます。

3. インストール/アンインストール

 専用のインストーラーを起動してDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementのインストール/アンインストールを行います。

詳細については、「3.インストール」、「4.アンインストール」を参照してください。

1.1 本ソフトウェアで実現可能な FAX 送信ソリューション

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を使用することで、次のような FAX 送信ソリューションが実現可能となります。

(1) 返信FAXを実現します

受信したFAXに対する返信を実現できます。

受信したFAXの任意のページを縮小して貼り付ける、任意のコメント、ページ数 などを付加して返信することを可能とします。

発信者ID、ApeosWare Flow Managementが提供する各種属性情報を元に、返信 先を柔軟に確定することが出来ます。



図 1.1-1 返信 FAX のイメージ

(2) FAX転送を実現します

受信したFAXドキュメント、スキャンしたドキュメントあるいは、フォルダーで 入力されたドキュメントに対してFAX転送が実現できます。 転送先はOCR実行した結果など、ApeosWare Flow Managementが提供する属性 情報を全て活用可能です。固定の転送先も指定可能です。 また、同報も可能としています。 図 1.1-2 FAX 転送のイメージ



(3) FAX配信を実現します
 受信したFAXドキュメント、スキャンしたドキュメントあるいは、フォルダーで
 入力されたドキュメントに対してFAX配信が実現できます。
 送付ページを付加して、任意のページのみを配信することも可能としています。

図 1.1-3 FAX 配信のイメージ



(4) その他、設定の組み合わせでFAX送信ソリューションを実現します
 実際のFAX送信は連携するDocWaysにより、複合機を有効活用した効率の良い出力を実現します。
 FAX送信の送信先となる情報はApeosWare Flow Managementが提供する全ての属性を活用することが出来ます。また、個別指定、同報指定も可能としています。
 FAX送信先(番号)を特定する際に、任意のCSV形式ファイルを活用して変換可

能としています。

任意のページのみの送信、任意の送付シートを付加しての送信、任意のコメント、 FAX受信した日時、ページ数などを付加した送信も可能としています。 設定時に送信イメージをプレビュー可能です。

2. 動作環境とソフトウェア構成

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementの動作環境とソフトウェア構成 について説明します。

2.1 動作環境

OS	・Windows Server 2008 Standard (32 ビット) 日本語版 [Service Pack 2]
	・Windows Server 2008 Enterprise (32 ビット) 日本語版 [Service Pack 2]
	・Windows 7 Professional (32 ビット) 日本語版 [Service Pack 1]
	・Windows 7 Enterprise (32 ビット)日本語版 [Service Pack 1]
	・Windows 8 Pro (32 ビット) 日本語版
	・Windows 8.1 Pro (32 ビット) 日本語版
	・Windows 10 Pro (32 ビット) 日本語版
	・Windows 7 Professional (64 ビット) 日本語版 [Service Pack 1]
	・Windows 7 Enterprise (64 ビット)日本語版 [Service Pack 1]
	・Windows Server 2008 R2 Standard (64 ビット) 日本語版 [Service Pack なし/1]
	・Windows Server 2008 R2 Enterprise (64 ビット) 日本語版 [Service Pack なし/1]
	・Windows 8 Pro (64 ビット) 日本語版
	・Windows Server 2012 Standard (64 ビット) 日本語版
	・Windows 8.1 Pro (64 ビット) 日本語版
	・Windows Server 2012 R2 Standard (64 ビット) 日本語版
	・Windows 10 Pro (64 ビット) 日本語版
	・Windows Server 2016 Standard (64 ビット) 日本語版
	・Windows Server 2019 Standard / Datacenter (64 ビット) 日本語版
	・Windows Server 2008 Standard (32 ビット) 英語版 [Service Pack 2]
	・Windows Server 2008 Enterprise (32 ビット) 英語版 [Service Pack 2]
	・Windows 7 Professional (32 ビット) 英語版 [Service Pack 1]

	・Windows 7 Enterprise (32 ビット) 英語版 [Service Pack 1]
	・Windows 8 Pro (32 ビット) 英語版
	・Windows 8.1 Pro (32 ビット) 英語版
	・Windows 10 Pro (32 ビット) 英語版
	・Windows 7 Professional (64 ビット) 英語版 [Service Pack 1]
	・Windows 7 Enterprise (64 ビット) 英語版 [Service Pack 1]
	・Windows Server 2008 R2 Standard (64 ビット) 英語版 [Service Pack なし/1]
	・Windows Server 2008 R2 Enterprise (64 ビット) 英語版 [Service Pack なし/1]
	・Windows 8 Pro (64 ビット) 英語版
	・Windows Server 2012 Standard (64 ビット) 英語版
	・Windows 8.1 Pro (64 ビット) 英語版
	・Windows Server 2012 R2 Standard (64 ビット) 英語版
	・Windows 10 Pro (64 ビット) 英語版
	・Windows Server 2016 Standard (64 ビット) 英語版
	・Windows Server 2019 Standard / Datacenter (64 ビット) 英語版
CPU	サーバーOS
	最小要件: インテル Xeon プロセッサー 5506 2.13GHz 相当(4 コア)
	推奨要件: インテル Xeon プロセッサー 3450 2.67GHz 相当以上 (4 コア以上)
	<u>クライアントOS</u> インテル Come 2 Due プロセッサー 20CHz 相当以上(2 コア以上)
2 11	※ApeosWare Flow Management の動作推奨環境に準拠します。
メモリ	Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10
	2GB 以上
	<u>Windows 7 64 ビット/ Windows 8 64 ビット/ Windows 8.1 64 ビット/</u>
	<u>Windows 10 64 ビット</u> 4GB 以上
	<u>Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server</u> 2012/ Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/
	Windows Server 2019
1	

	※ApeosWare Flow Management の動作推奨環境に準拠します。
HDD	20GB 以上の空き容量
	※使用する OS 側の制限または、運用環境により必要なハードディスクの容量が変更になる場合があります。
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 7
	Microsoft Internet Explorer 8
	Microsoft Internet Explorer 9
	Microsoft Internet Explorer 10
	Microsoft Internet Explorer 11
	Mozilla FireFox 18
	Mozilla FireFox 19
	Mozilla FireFox 22.0
	Mozilla FireFox 23.0

2.2 ソフトウェア構成

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementを稼働させるには、以下のソフト ウェアが必要です。

(1) ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management

FUJIFILM ApeosWare Flow Managementの配信先として機能するソフトウェアです。

DocWaysと連携することによって複合機を活用した自動FAX送信/返信を実現します。

- (2) ACEL DocWays
 複合機や多機能プリンタ等を活用した、ドキュメントサーバーシステムです。
 ※FAX機能つきのACEL DocWays Ver.4.0.0以上が必要です。
- (3) FUJIFILM ApeosWare Flow Management
 異なるフォーマットの文書を自動的に管理・配信することが可能なソフトウェアです。
- (4) FUJIFILM DocuWorks Desk
 異なるアプリケーションで作成されたデータや紙文書を束ねて1文書にし、順序の
 並び替えや簡単な編集、一括プリントを可能にしたソフトウェアです。
 - ※FUJIFILM DocuWorks Desk Ver.8.0.4以上が必要です。
- ※ハードウェア構成は、ApeosWare Flow ManagementとDocWaysのソフトウェア動作 環境が別コンピューター上での稼動を推奨します。

3. インストール

インストール方法を説明します。

インストールの前に「2.動作環境とソフトウェア構成」の章を参照してインストールの 準備が整っているかどうか確認しておいてください。

インストール用のファイルは圧縮されています。そのままの状態ではご使用になれませ ん。必ずインストーラーから実行してください。

3.1 新規インストール

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management をインストールする前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

インストールを途中で終了した場合、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management は正しく動作いたしません。再度インストールを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働している状態でイントスールを実行してください。 ApeosWare Flow Management が稼働していない状態でイントスールを実行すると、イ ンストールに失敗します。

操作1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management - InstallShield Wizard			×
設定言語の選択 インストールで使用する言語を次の中から選択して下さい。			Z
英語日本語	_	_	
InstallShield 〈 戻る(B) 〉 次へ	.(N) >	++>>t	211

図 3.1-1 設定言語の選択画面

<次へ>ボタンをクリックしてください。「セットアップの事前確認メッセージ」 が表示されます。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作2.「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

図 3.1-2 セットアップの事前確認メッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

操作3.「ようこそ画面」が表示されます。

図 3.1-3 ようこそ画面



<次へ>ボタンをクリックしてください。「製品使用許諾契約画面」が表示されます。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

- 操作4. 製品の使用許諾契約の内容を読んで製品のライセンスに同意してください。 ライセンスに同意しない場合はインストールを続行することはできません。
 - 図 3.1-4 製品使用許諾契約画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management - セットアップ	×
使用許諾契約 次の製品の使用許諾契約を注意深くお読みください。	
契約の残りの部分を読むには、[Page Down]キーを押してください。	
シフトウエア使用語キ諸条項 本ソフトウエアをご使用いただくにあたり、以下の各条項が適用されますのでご了承ください。	^
1. (使用権) 弊社は、お客様に対して、弊社が指定するバージョンのオペレーティング・システムを搭載した 弊社は定のハードウェア環境を有する裸種(以下指定標種といいます。)に取りこのパッケージ に入っているソフトウエア(記録媒体に格納されるプログラムおよびこれに関するマニュアル等 の資料をいいます。以下総称して本ソフトウエアといいます。)を本契約条項に従って使用する ことを許諾します。ただし、お客様はこの使用権をお客様以外の第三者に譲渡できません。また この権利以お客様が独占的に有する権利ではありません。	~
ー 前述の製品使用許諾契約のすべての条項に同意しますか?[いいえ]ボタンを選択すると、セットアップを中止 ます。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementをインストールするには、この契約に同意する。 要があります。 InstallShield	U Å
< 戻る(B) (はい(Y) (いいえ()	Ð

- <はい>ボタンをクリックしてください。「インストール先の選択画面」が表示さ れます。
- **<戻る>**ボタン ひとつ前の画面に戻ります。
- **<いいえ>**ボタン インストールを中止します。
- 操作5. インストール先のフォルダーを指定してください。

図 3.1-5 インストール先の選択画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management - セットアップ	×
インストール先の選択 セットアップがファイルをインストールするフォルダーを選択してください。	
セットアップは、次のフォルダーにDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementをインストールします。	
このフォルダーヘインストールするには、〔次へ〕ボタンをクリックします。	
別のフォルダーヘインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダーを選択してください。	
「インストール先のフォルダー	
WPsersen Files (LOSWACELYDWEs:LAWEM 参昭(R)	
InstallShield	
< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル	

<次へ>ボタンをクリックしてください。「プログラムフォルダーの選択画面」が 表示されます。

<戻る>ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

初期設定のフォルダー以外のフォルダーにインストールを行う場合は、**<参照>** ボタンをクリックしてインストール先のフォルダーを指定してください。

操作6. プログラムフォルダーを選択してください。

初期設定は"エイセルパッケージ¥ApeosWare Flow Management プラグイン" になっています。

図 3.1-6 プログラムフォルダーの選択画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management - セットアップ	×
プログラムフォルダーの選択 プログラムフォルダーを選択してください。	
セットアップは、ン次にリストされているプログラムフォルダーにプログラムアイコンを追加します。新しいフォルダー名を入 力するか、または、既存のフォルダーリストから1つを選択することもできます。	
フログラム フォルター(P): Iイセルパッケージ¥ApeosWare Flow Management プラグイン	
既存のフォルター(※):	
Accessories Administrative Tools FUJIFILM ApeosWare Management Suite Maintenance Microsoft SQL Server 2019	
Nuance StartUp System Tools	
InstallShield	
< 戻る(<u>B</u>) 次へ (<u>N</u>)> キャンセル	

<次へ>ボタンをクリックしてください。インストールを開始します。

<戻る>ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

初期設定のプログラムフォルダー以外のフォルダーを設定する場合には、下にあ る既存のフォルダーの一覧から選択してください。

操作7.「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.1-7 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のインストールが終了します。

操作8.インストール後、「再起動確認画面」が表示されることがあります。その場合には、 必ずコンピューターを再起動してください。

初期値は、"いいえ、あとでコンピューターを再起動します。"が選択されています。

図 3.1-8 再起動確認画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management-セットアップ	
	DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management イン ストールの完了 DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementのインストール 時に更新できなかったファイルがあります。 DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementをすぐに使用す る場合はコンピューターを再起動する必要があります。 ③ はい、今すぐコンピュータを再起動します。] ④ いいえ、後でコンピュータを再起動します。 [完了]ボタンをクリックし、セットアップを終了してください。
	< 戻る(<u>B</u>) 完了 キャンセル

再起動のタイミングを選択後、<完了>ボタンをクリックしてください。

インストール後にディレクトリ構成の変更や、ファイルの削除・移動を行わないで ください。この場合、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の動作 保証はいたしません。

3.2 上書きインストール

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を再インストールする方法に ついて説明します。

起動している他のプログラムがあれば、すべて終了してください。

以下の手順を実行後、ApeosWare Flow Management が稼働している状態でイントスー ルを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働していない状態でイントスールを実行すると、イントスールに失敗します。

- ApeosWare Flow Management のすべてのフローに対して「フローの無効化」を 実施し、「ジョブ管理」画面ですべてのジョブが終了した事を確認します。
- (2) コンピューターを再起動します。
- (3) ApeosWare Flow Management が操作可能である事を確認します。
 この時、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managenet の設定画面を開かないでください。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managenet の設定画面を開いた場合は、 手順(2)に戻ってください。

操作1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動し てください。「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

図 3.2-1 セットアップの事前確認メッセージ

ACEL Doc	Ways AutoFAX for ApeosWare Flow Management - セットアップ	×
	セットアップを開始します。 ApeosWare Flow Managementでの操作、およびジョブの処理が行われ ていないことを確認してから、セットアップを開始することをお勧めします。	
	ОК	

<OK>ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

操作2.「ようこそ画面」が表示されます。

ようこそ	
DocWays Au します。	ioFAX for ApeosWare Flow Managementを修正、または削除
DocWays Au グラムを使用し	:oFAX for ApeosWare Flow Managementのセットアップメンテナンスプログラムへようこそ。このプロ ,CDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementを修正、または削除することができま
●修正(E)	
1 ⁵	前回のセットアップでインストールしたすべてのフログラム 機能を再インストールします。
○削除(<u>R</u>)	
	すべてのインストールされている1後配を用助求します。
InstallShield —	
	< 戻る(B) 法へ (N)> キャンセル

操作3.「修正」が選択されていることを確認したのち、

<次へ>ボタンをクリックしてください。上書きインストールを開始します。 <キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作4.「インストールの完了画面」が表示されます。

図:	3.2-4	インス	トールの完	了画面
----	-------	-----	-------	-----



<完了>ボタンをクリックしてください。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のインストールが終了します。

操作5.インストールの途中で、「削除エラーのメッセージ」が表示されることがあります。 その場合には、**必ずコンピューターを再起動してください。**



<**OK**>ボタンをクリックしてください。

4. アンインストール

アンインストールの方法を説明します。

アンインストール前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了して ください。

以下の手順を実行後、ApeosWare Flow Management が稼働している状態でアンイント スールを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働していない状態でアンイントスールを実行する と、アンイントスールに失敗します。

- ApeosWare Flow Management のすべてのフローに対して「フローの無効化」を 実施し、「ジョブ管理」画面ですべてのジョブが終了した事を確認します。
- (2) コンピューターを再起動します。
- (3) ApeosWare Flow Management が操作可能である事を確認します。 この時、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managenet の設定画面を開かな いでください。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managenet の設定画面を開いた場合は、 手順(2)に戻ってください。

操作1.

Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows 8、 Windows Server 2012、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 10、 Windows Server 2016、Windows Server 2019 の場合

〔スタート〕メニューから〔コントロールパネル〕→〔プログラムと機能〕をク リックします。

「プログラムと機能」画面が表示されます。

〔プログラムのアンインストールまたは変更〕から"ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management"を選択して、**<アンインストール>**ボタンをクリックしてください。

「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。



<OK>ボタンをクリックしてください。「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

操作2.「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

ファイル削除の確認		×
DocWays AutoFAX f 削除しますか?	for ApeosWare Flow Managementの関連ファイルを完全に	
		_
	OK キャンセル	
	DocWays AutoFAX for ApeosWare Flo	w N

のアンインストールを開始します。

操作3.「アンインストールの完了画面」が表示されます。

図 4-3 アンインストールの完了画面



<完了>ボタン DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のアン インストールが終了します。

図 4-2 ファイル削除の確認画面

<キャンセル>ボタン アンインストールを中止します。

操作4.アンインストール後、「再起動確認画面」が表示されることがあります。その場合 には、**必ずコンピューターを再起動してください。**

初期値は、"はい、今すぐコンピューターを再起動します。"が選択されています。

図 4-4 再起動確認画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management - セットアップ			
	DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management アン インストールの完了 DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementのアンインストー ル時に削除できなかったファイルがあります。 ファイルを完全に削除するにはコンピューターを再起動する必要があります。 ③ はい、今すぐコンピュータを再起動します。 ③ いいえ、後でコンピュータを再起動します。 [完了]ボタンをクリックし、セットアップを終了してください。		
	< 戻る(<u>B</u>) 完了 キャンセル		

再起動のタイミングを選択後、**<完了>**ボタンをクリックしてください。

操作5.アンインストールの途中で、「削除エラーのメッセージ」が表示されることがあり ます。その場合には、**必ずコンピューターを再起動してください。**

<OK>ボタンをクリックしてください。

操作6. アンインストールする前に DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のサービスが起動していない場合は、「サービス停止状態のエラーメッセージ」が 表示されます。その場合には、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を開始し、再度アンインストールをお試しください。

図 4.6 サービス停止状態のエラーメッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。

5. 使い方

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を使用して、DocWaysからFAX 送信を実行する手順について説明します。

次の手順に従ってApeosWare Flow Managementのフロー情報を作成することで、 ApeosWare Flow ManagementとDocWaysを連携してFAX送信を実行することができるようになります。

- 1. DocWaysの宛先フォルダーを作成する
- 2. ApeosWare Flow Managementにフローを追加する
- 3. 追加したフローにFAX送信を行うための基本情報を設定する
- 4. FAX送信する文書の内容について設定する

5.1 DocWays の宛先フォルダーを作成する

ApeosWare Flow ManagementからDocWaysを連携させてFAX送信を実行するためには、 DocWaysにFAX送信業務を実行する宛先フォルダーを作成しなければなりません。 ここでは、宛先フォルダーの設定方法について説明します。

図 5.1 DocWays の宛先フォルダーを作成

🥩 宛先フォルダ追加	?		×
 □ 全般 □ メール通知 □ 時間指定 □ テキストファイル印刷 □ イメージ・ファイル印刷 □ FAX7リンタ □ FAX送信先 □ 実行条件 	フォルダ名 フォルダ名称(E) FAX送信業務 ディレクトリ名(D) FAX送信業務 参照(R) 文書ファイル このフォルダへの文書ファイル指定方式を選択してください。 () ファイルを単独で置く(S) () ユーザカタログファイルを使用する(C) このフォルダで実行した文書ファイルの保存方式を選択してください。 () 実行したファイルを作業用フォルダに保存する(W) () 任意のフォルダへ実行したファイルを出ビーする(B) 参照(N) () ユーザカタログファイルを保存する(M) () 同名のファイルがある場合、日時を付加し別名で保存す () エラー発生ファイルは別のフォルダにコピーする(Q)	• •	
		W7*	

- (1) DocWays を起動し、「宛先フォルダーの追加」を実行します。
- (2) 宛先フォルダーの全般項目を設定します。

①フォルダー名称を指定します。

- ②文書ファイル指定方式として、[ユーザカタログファイルを使用する] ラジオボタ ンを選択します。この設定は必須です。
- ③文書ファイルの保存方式を選択します。送信したDocuWorks文書を保存すること ができます。また、エラーが発生したDocuWorks文書を別のフォルダーに保存す ることができます。
- ④必要であれば「時間指定」にて実行する時間帯を指定します。

- (3) FAX 送信業務に関する基本項目を設定します。
 ①使用するFAXプリンタを選択します。
 ②実行条件を指定します。分散送信および、保証送信(再送信)を実行するかどうか指定します。
- (4)「宛先フォルダーの追加」を終了します。FAX 送信業務を実行する宛先フォルダーが 作成されます。

※詳細については、DocWaysのヘルプまたは、マニュアルをご参照ください。

5.2 ApeosWare Flow Management にフローを追加する

ApeosWare Flow Managementのフロー情報に "DocWays AutoFAX" を追加する方法に ついて説明します。

ここでは、フローの追加方法について説明します。

図 5.2 ApeosWare Flow Management	にフローを追加
配信先(必須)	
追加: DocWays AutoFAX V	組み合わせから
配信先	[配信先]の追加コンボボックス
上へ移動 下へ移動	

(1) ApeosWare Flow Management を起動し、[フロー一覧] - [新規作成] を選択しま す。

- (2)「フローの新規作成」画面が表示されます。
- (3) [配信先] の追加コンボボックスから"DocWays AutoFAX"を選択します。
- (4)「DocWays AutoFAX 設定」画面を表示します。
- (5) FAX 送信および文書に関する設定を行い、「フローの新規作成」画面に遷移します。
- (6) [配信先] リストに追加した "DocWays AutoFAX"の登録名が表示されます。 この登録名は、「DocWays AutoFAX 設定」画面の [名称] 表示ボックスで変更でき ます。

5.3 追加したフローに FAX 送信を行うための基本情報を設定する

「DocWays AutoFAX設定」画面におけるFAX送信を行うための基本情報の設定について 説明します。

ここでは、送信を実行するDocWaysの宛先フォルダーやFAX番号の取得方法について説 明しています。

図 5.3 FAX 送信を行うための基本情報を設定

і⊗ DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定	OK キャンセル
夕 称 ·	
DocWays AutoFAX	
DocWays宛先フォルダーに関する内容を設定します。 (1) 宛先フォルダーの	設定
連携するDocWays)同報(必須):	
ユーリー名(必須):	
パスワード(必須)	
パスワードの確認(必須):	
(2) ユーザー名	とパスワードの入力
····································	
送信先を指定するための設定をここで行います。	
▶	
◎発信者IDを使用する	1
● [■] ■ [■] ■ (3) 送信先の指定方法の入力	
属性を選択してください ∨	
○直接指定する	
□送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する	
設定	
■ FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する	
ファイルから FAX 番号を /	OK キャンセル
収恃する刀広い入力	

- (1) 送信を実行する DocWays の宛先フォルダーを設定します。
 - ① [基本情報] タブの [設定] ボタンをクリックすると、「DocWaysサーバー名設定」 画面を表示します。
 - ②「DocWaysサーバー使用確認」画面にて、DocWaysがインストールされているサ ーバーを検索します。

事前に使用するDocWaysが稼動状態でなければなりません。またFAX業務かつ、 ユーザカタログファイルを使用する宛先フォルダーが作成されていなければなり ません。

③「DocWaysサーバー使用確認」画面にて、このソフトウェアが送信を実行する DocWaysの宛先フォルダーを選択し、[完了] ボタンをクリックします。 (2) DocWays がインストールされているサーバーにログインするためのユーザー名とパ スワードを設定します。この設定は必須です。
 ①DocWaysの共有フォルダーにアクセス可能なユーザー名とパスワードを指定して

ください。

(3)送信先の FAX 番号、または FAX 番号を特定するための元となる情報(FAX 番号情報)について設定します。以下の指定が可能です。

a.発信者IDを使用する

ApeosWare Flow Managementの[ボックス]を通して取得した文書の[発信者 ID]属性をFAX番号として指定します。

- [発信者ID]をFAX番号とせずに宛先変換キーとして使用することもできます。 b.属性を使用する
 - ApeosWare Flow Managementの提供する各属性の中から任意の属性をFAX 番号として指定します。
 - ApeosWare Flow Managementの「フローの新規作成」画面の [取り込み元]、 [加工方法] で設定された機能の属性から選択できます。

共通属性を指定することもできます。

c.直接指定する

FAX番号情報を直接指定する方式です。

- 同報FAX送信を行う場合は、FAX番号を「;(半角セミコロン)」で区切って設定します。
- (4) ファイルから FAX 番号を取得する場合について
 - (3)で取得したFAX番号情報を使用して(宛先変換キー)、CSV形式ファイルからFAX 番号を取得することができます。
 - ファイルからFAX番号を取得する設定方法について説明します。
 - ① [送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する] チェックボックスをチェ ックします。
 - ② [送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する]表示ボックス横の[設定] ボタンをクリックします。「CSV形式ファイル選択」画面が表示されます。
 - ③「CSV形式ファイル選択」画面の[アップロード]ボタンクリックし、ファイルの選 択画面を表示します。
 - ④「ファイルの選択」画面の「参照」ボタンをクリックし、FAX番号取得で使用す るためのCSV形式ファイルをアップロードします。
 - ⑤「ファイルの選択」画面の「OK」ボタンをクリックし、ファイルを登録します。

- ⑥「CSV形式ファイル選択」画面の元のデータ形式から、アップロードしたCSV形式ファイルのデータ形式を選択し[次へ]ボタンをクリックし、「送信情報変換項目選択」画面を開きます。
- ⑦「送信情報変換項目選択」画面のFAX番号情報(宛先変換キー)を検索する項目 を指定し、「完了」ボタンをクリックし、「基本情報」タブを開きます。
- ⑧FAX番号情報と一致した項目のデータから、FAX番号として取得する項目を指定 します。

[FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する] チェックボックス をチェックすると、CSV形式ファイルからFAX番号が見つからなかった場合に、処理 を中断せずに続行させることができます。

5.4 FAX 送信する文書の内容について設定する

「DocWays AutoFAX設定」画面における文書情報の設定について説明します。

ここでは、DocWaysの宛先フォルダーに格納する文書、つまりFAX送信文書についてどのような文書を作成するのかについて説明しています。

図 5.4	FAX 送信する文書の内容につい	いて設定
-------	------------------	------

🚳 DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定
のK キャンセル
名称: DocWays AutoFAX
基本情報 文書情報 ノビージョン情報
ここでは、送信する文書の内容について設定します。 送信文書の内容 新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する ✓
元文書の送信するページ ●すべてのページを送信する ○指定したページを送信する
新しく作成するページの内容について設定します。 □ 背景にテンプレート文書を使用する ■ 元文書の任意のページを貼り付ける ■ 貼り付けるページ
ページ(1~999): 1
貼り付け位置 上から(0~500mm): 0 左から(0~500mm): 0 コメントの設定 ページイメージ表示

DocWaysの宛先フォルダーに格納する DocuWorks 文書の種類を設定します。
 以下の指定が可能です。

a.元の文書をそのまま送信する

ApeosWare Flow Management から取り込んだ DocuWorks 文書をそのまま宛 先フォルダーに格納します。

指定したページのみを抽出し束ねて格納することもできます。

b.新しいページを作成して、そのページを送信する

1ページからなる新規 DocuWorks 文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。 c.新しいページを作成し、元の文書の先頭に合成して送信する

ApeosWare Flow Management から取り込んだ DocuWorks 文書の先頭にページを挿入して、宛先フォルダーに格納します。

d.新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する

ApeosWare Flow Management から取り込んだ DocuWorks 文書をイメージと して貼り付けた新規 DocuWorks 文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

(2)送信する元文書(ApeosWare Flow Management が取り込んだ DocuWorks 文書) のページ指定を行います。元文書を、そのまま DocWays の宛先フォルダーに格納す るか、または指定したページのみを抽出して送信するのかを指定します。 以下の指定が可能です。

a.全てのページを指定する

元文書の全ページを送信の対象とします。

b.選択したページを指定する

元文書から指定したページのみを抽出し、送信の対象とします。

(3)新しく作成するページの内容について指定します。以下の指定が可能です。

a.背景のイメージとして、任意のテンプレート文書を使用する

背景のイメージとして、任意のテンプレート文書を使用しない場合、新しい DocuWorks 文書はA4 たてとなります。

b.特定のページをイメージとして貼り付ける

イメージは、ページ指定として [ページ]、[縮小率]、貼り付け位置として [上から]、[左から]を指定することができます。

c.コメントを付加する

新しく作成するページに任意のコメントを指定することができます。

(4) 新しく作成するページの表示イメージをブラウザ上で確認することができます。

6. 画面の説明

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementで使用する「DocWays AutoFAX 設定」画面について説明します。

「DocWays AutoFAX設定」画面は、DocWays AutoFAX のフロー情報を設定するための 画面です。

🚳 DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定	
	0K キャンセル
名称:	
DocWays AutoFAX	
基本情報 文書情報 文書情報	
DocWays宛先フォルダーに関する内容を設定します。	ヘルプ
連携するDocWays情報(必須):	
AUTOFAX 設定	
ユーザー名(必須): Administrator	
パスワード(必須):	
••••••	
パスワードの確認(必須):	
送信先のFAX番号を設定します。 送信先を指定するための設定をここで行います。	
●発信者IDを使用する ● 回せを使用する	
✓送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する	
□ FAX 番 ち / 兄 フ /) つ	
	0K キャンセル

図 6. 「DocWays AutoFAX 設定」画面

(1)[基本情報]タブ

<u>機能</u>

・送信を実行するDocWaysの宛先フォルダーの設定や、FAX番号の取得方法について設定します。

(2)[文書情報]タブ

機能

・DocWaysの宛先フォルダーに格納するFAX送信文書についてどのような文書を作成するのか を設定します。

(3)[バージョン情報]タブ

<u>機能</u>

- ・AutoFAX DocWays のバージョン情報が確認できます。
- (4)[OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存しフローの編集画面へ遷移します。
- ・プロパティ表示時は、表示されません。
- (5)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

- ・処理を中断しフローの編集画面へ遷移します。
- ・プロパティ表示時は、表示されません。
- (6)[ヘルプ]リンクテキスト

<u>機能</u>

・ヘルプを表示します。

(7)[名称]表示ボックス

機能

- ・[フローの編集]の[配信先]リストに設定した登録名が表示されます。
- " ' < > & タブは使用できません。

操作

- ・最大 512 字(半角相当)まで指定可能です。
- ・・初期値="DocWays AutoFAX"です。
6.1 [基本情報] タブ

[基本情報] タブは、送信を実行するDocWaysの宛先フォルダーの設定や、FAX番号の 取得方法について設定するための画面です。

「DocWays AutoFAX設定」画面にて[基本情報]タブを選択してください。図6.1の画 面を表示します。画面および操作について説明します。

🚳 DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定	
	0K キャンセル
名称:	
DocWays AutoFAX	
基本情報 文書情報 ノビージョン情報	
DocWays宛先フォルダーに関する内容を設定します。	ヘルプ
連携するDocWavs情報(必須)	
AUTOFAX B2	
ユーザー名(必須):	
Administrator	
パスワード(必須):	
•••••	
パスワードの確認(必須):	
••••••	
送信先のFAX番号を設定します。 送信先を指定するための設定をここで行います。 ●発信者IDを使用する ●属性を使用する	
共通属性ジョブ受付日時 ✔	
○直接指定する	
 ✓ 送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する ○○○市役所FAX番号一覧表.tsv □ FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する 	
	ОК <i>キャンセル</i>

図 6.1 [基本情報]タブ

(1)[連携する DocWays 情報]表示ボックス

<u>機能</u>

・使用するDocWaysのネットワーク共有フォルダー名(宛先フォルダー)を表示します。

・「DocWaysサーバー使用確認」画面で設定した宛先フォルダーを表示します。

(2)[設定]ボタン

<u>機能</u>

・「DocWaysサーバー名設定」画面を表示して、DocWaysが稼動しているサーバーを検索します。使用する宛先フォルダーについては「DocWaysサーバー使用確認」画面を開き設定します。

・事前に使用するDocWaysが稼動状態でなければなりません。

<u>操作</u>

- ・「DocWaysサーバー名設定」画面を表示します。
- ・設定した宛先フォルダーは、[連携するDocWays情報]表示ボックスに表示されます。
- ・この操作は必須です。

(3)[ユーザー名]入力ボックス

<u>機能</u>

- ・DocWaysで使用しているネットワーク共有フォルダー(宛先フォルダー)にアクセスするための ユーザー名を入力します。
- ・「DocWaysサーバー名設定」画面で設定したネットワーク共有フォルダーに対して、アクセス 権のある(ファイルの読み書きが可能な)ユーザー名を指定してください。
- ・ドメイン名が必要な場合、ユーザー名の前にドメイン名とバックスラッシュ(¥)を付けます。
 例) mydomain¥username

操作

- ・最大256字(半角相当)まで指定可能です。
- ・この操作は必須です。
- (4)[パスワード]入力ボックス

機能

・DocWaysで使用しているネットワーク共有フォルダー(宛先フォルダー)にアクセスするための パスワードを入力します。

<u>操作</u>

・最大128字(半角相当)まで指定可能です。

(5)[パスワードの確認]入力ボックス

<u>機能</u>

・[パスワード]に入力した文字列をもう一度入力します。

<u>操作</u>

・最大128字(半角相当)まで指定可能です。

(6) [送信先を指定するための設定をここで行います] グループ

送信先のFAX番号または、FAX番号を特定するための元となる情報(FAX番号情報)を指定しま す。

①[発信者 ID を使用する]ラジオボタン

<u>機能</u>

 ApeosWare Flow Managementの[ボックス]を通して取得した文書の[発信者ID]属性 からFAX番号を取得するかどうかを指定します。

・[取り込み元]に[ボックス]が設定されていない場合、選択できません。

操作

 ApeosWare Flow Managementの[ボックス]を通して取得した文書の[発信者ID]属性 からFAX番号を取得する場合にチェックします。

②[属性を使用する]ラジオボタン

<u>機能</u>

・[取り込み元]および、[加工方法]で設定した各機能の属性の中から任意の属性を指定し、その属性からFAX番号を取得するかどうかを指定します。

<u>操作</u>

・[取り込み元]および、[加工方法]で設定した各機能の属性の中から任意の属性を指定し、その属性からFAX番号を取得する場合にチェックします。

③[属性を使用する]コンボボックス

<u>機能</u>

・[属性を使用する]ラジオボタンをチェックした場合に、属性を指定します。

・[取り込み元]および、[加工方法]で設定された各機能の属性を表示します。

操作

・「フローの新規作成/編集」画面の各種属性の中から任意の属性を選択します。

④[直接指定する]ラジオボタン

<u>機能</u>

・直接情報を指定し、その値からFAX番号を取得するかどうかを指定します。

<u>操作</u>

・直接情報を指定し、その値からFAX番号を取得する場合にチェックします。

⑤[直接指定する]入力ボックス

<u>機能</u>

- ・[直接指定する]ラジオボタンをチェックした場合に、FAX番号または、FAX番号を取得す るためのキーを直接入力します。
- ・同報FAX送信を行う場合は、FAX番号を「:(半角セミコロン)」で区切ります。
 - 例) 0311112222;0633334444;……….

操作

- ・最大512字(半角相当)まで指定可能です。
- ・FAX番号の入力については、「8. 注意/制限事項」の「8.1 FAX番号について」の項を 参照してください。

(7) [送信先と CSV 形式ファイルから FAX 番号を検索する] チェックボックス

<u>機能</u>

- ・[送信先を指定するための設定をここで行います]グループで選択した属性情報(FAX番号 情報)からFAX番号を検索するかどうかを指定します。
- ・[送信先を指定するための設定をここで行います]グループより取得したFAX番号情報は、 ファイルの検索キー(宛先変換キー)となります。

<u>操作</u>

- ・宛先変換キーを元にCSV形式ファイルからFAX番号を検索する場合に選択します。
- ・[送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する]チェックボックスを選択した場 合、「送信情報変換項目選択」画面で宛先変換情報ファイルの指定が必要となります。

(8) [送信先と CSV 形式ファイルから FAX 番号を検索する]表示ボックス

<u>機能</u>

・「CSV形式ファイル選択」画面で設定したCSV形式ファイル名を表示します。

(9)[設定]ボタン

<u>機能</u>

・FAX送信情報(宛先変換キー、FAX番号)の取得方式を指定します。

・「CSV形式ファイル選択」画面で指定されたファイル名を[送信先とCSV形式ファイルから FAX番号を検索する]表示ボックスに設定します。

<u>操作</u>

- ・「CSV形式ファイル選択」画面を表示します。
- ・設定したファイルは、[送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する]表示ボックスに 表示されます。
- (10) [FAX 番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する] チェックボックス
 - <u>機能</u>
 - ・「CSV形式ファイル選択」画面で指定されたCSV形式ファイルからFAX番号が見つからなかった場合に、処理を中断するか続行するかどうかを指定します。
 - ・[FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する]チェックボックスをチェックし た場合でも、エラーの内容はApeosWare Flow Managementの「ジョブ管理」画面および、 ログファイルにて確認できますが、エラーコードは表示されません。

操作

・「CSV形式ファイル選択」画面で指定されたCSV形式ファイルからFAX番号が見つからなかった場合でも、処理を続行する場合に選択します。

6.1.1 「DocWays サーバー名設定」画面

「DocWays サーバー名設定」画面は、DocWays が稼動しているサーバーを検索し、最新の宛先フォルダー情報を取得する画面です。

取得する DocWays サーバー名の指定

図 6.1.1-1 「DocWays サーバー名設定」画面

🧼 DocWays AutoFAX - DocWaysサーバー名設定	
	開始(キャンセル)
ここでは、DocWaysがインストールされているサーバーを検索し、使用する共有フォルダーを設定します。 DocWaysのサーバー名を指定後、[開始]をクリックしてください。 サーバー名: FAXSVR2008R2 □ DocWaysのサーバー名を一覧より選択する	<u>کیالہ</u>
マークグループ取得	
サーバー名	
	開始(キャンセル)

(1)[サーバー名]入力ボックス

<u>機能</u>

・宛先フォルダー情報を取得するDocWaysのサーバー名(マシン名)を指定します。

操作

・[DocWaysのサーバー名を一覧より選択する]チェックボックスをチェックしていない場合、この 項目は省略できません。

・DocWaysのサーバー名を指定後、[開始]ボタンをクリックします。

(2) [DocWays のサーバー名を一覧より選択する] チェックボックス

機能

・[サーバー名]リストよりDocWaysのサーバー名(マシン名)を指定するかどうかを指定しま す。

操作

・サーバー名を直接指定せずに、[サーバー名]リストより選択する場合にチェックします。

(3) [ワークグループ取得] ボタン

<u>機能</u>

[DocWaysのサーバー名を一覧より選択する]チェックボックスをチェックした場合に、ネットワーク上のドメインおよび、ワークグループを取得しサーバー名(マシン名)の一覧を作成します。

・取得するまでに時間がかかる場合があります。この機能は必要な場合のみ実行してください。

<u>操作</u>

・「コンピューター名の取得」確認画面を表示します。[OK]ボタンで実行します。

・「コンピューター名の取得」画面を表示します。

・画面にて[中断]ボタンをクリックすると、コンピューター名の取得を中止します。

・中断するまでには時間がかかることがあります。

(4) [ワークグループ名] コンボボックス

<u>機能</u>

・取得したワークグループを表示します。

操作

・DocWaysのサーバーが所属するドメイン名または、ワークグループ名を選択します。

・選択したワークグループに所属するサーバー名を[サーバー名]リストに表示します。

(5)[サーバー名]リスト

機能

 「ワークグループ名]コンボボックスで選択されたドメインまたは、ワークグループに所属するサ ーバー名を表示します。

<u>操作</u>

・宛先フォルダー情報を取得するDocWaysのサーバー名を選択後、[開始]ボタンをクリックします。

(6)[開始]ボタン

<u>機能</u>

・指定したサーバー上で稼動しているDocWaysから最新の宛先フォルダー情報を取得しま す。

・事前に使用するDocWaysが稼動状態でなければなりません。

<u>操作</u>

・「DocWaysサーバー情報取得」画面を表示します。

・「DocWaysサーバー情報取得」画面にて[中断]ボタンをクリックすると、宛先フォルダー情 報の取得を中止します。

・中断するまでには時間がかかることがあります。

・DocWaysから応答がない場合、警告メッセージを表示します。

・この場合、指定したサーバー上でDocWaysが稼動していない原因が考えられます。

(7)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「基本情報」タブを表示します。

<u>使用する DocWays 宛先フォルダーの選択</u>

図 6.1.1-2 「DocWays サーバー使用確認」画面

DocWays AutoFAX	- DocWaysサール	バー使用確認		
				< 戻る 完了 キャンセル
FAX送信を実行するFAX業務のDoc ^M サーバー名:	Ways宛先フォルダーを	を一覧より選択し、	完了]をクリックしてください。	
WIN-2JF15EB0N8D				
共有フォルダー名:				
FAX(AutoFAX)				
宛先フォルダー	ディレクトリ	業務		
O 🗅 AUTOFAX FOR AWFM	FAX (AUTOFAX)	FAX		
○ □ FAX(ユーザカタログ)	FAX(ユーザカタロ グ)	FAX		
				< 戻る 完了 キャンセル

(1)[サーバー名]表示ボックス

<u>機能</u>

・使用するDocWaysのサーバー名(マシン名)を表示します。

(2)[共有フォルダー名]表示ボックス

<u>機能</u>

・使用するDocWaysのネットワーク共有フォルダー名を表示します。

(3)[宛先フォルダー]リスト

<u>機能</u>

・DocWaysから取得した宛先フォルダーを表示します。

<u>操作</u>

・リストの内訳は以下の通りです。

①宛先フォルダー→宛先フォルダー名を表示します。

②ディレクトリ→宛先フォルダーが使用するディレクトリ名をネットワーク共有フォルダーからの相対パスで表示します。

- ③業務→この宛先フォルダーが実行する業務を表示します。実行する業務には「FAX」、 「印刷」、「変換」があります。
- DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementから実行できる宛先フォルダーの みが表示されます。

・表示されている宛先フォルダーを選択後、[完了]ボタンをクリックします。

(4)[戻る]ボタン

<u>機能</u>

・一つ前の画面を表示します。

(5)[完了]ボタン

<u>機能</u>

- ・[宛先フォルダー]リストより選択した宛先フォルダーをDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementで使用します。
- ・処理を実行する場合は、ここで指定した宛先フォルダーにDocuWorks文書を保存します。

<u>操作</u>

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。
- (6)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「基本情報」タブを表示します。

6.1.2 「CSV 形式ファイル選択」画面

「CSV 形式ファイル選択」画面は、FAX 番号を検索するために使用する CSV 形式ファ イルを登録する画面です。

CSV 形式ファイルを元に設定する

図 6.1.2-1「CSV 形式ファイル選択」画面

	ocWay AutoFAX - CSV形式	ファイル選択		
				次へ> キャンセル
任意のC CSV形す 既に登録 登録〉	SV形式ファイルを元に、宛先変換キー/ ボのファイル名を設定後、[次へ]をクリッ まされているCSV形式ファイルを編集した 斉みCSV形式ファイル一覧	「FAX番号の列を設定します。 クしてください。 こい場合は、ファイルをダウ】	ンロード後、アップロードを実施してください。	~11.2
	ファイル名	更新日時	アップロード	
۲	AddressList.csv	2021/10/18 18:50:43		
0	AddressList.tsv	2021/10/18 19:09:56	削除	
0	〇〇〇市役所FAX番号一覧表.tsv	2021/10/18 18:53:46		
0	取引先住所一覧表.csv	2021/10/18 19:10:09		
0	部門グループー覧表.csv	2021/10/18 19:10:17		
元の	データ形式			
CS	V形式ファイルのデータを区切る形式を追 タブによって区切られたデータ	経択してください。		
0,	カンマによって区切られたデータ			
				次へ> キャンセル

(1)[登録済み CSV 形式ファイルー覧]リスト

<u>機能</u>

・登録済みのCSV形式ファイルー覧を表示します。

<u>操作</u>

・登録済みのCSV形式ファイル名とファイルの更新日時を表示します。

(2) [アップロード]ボタン

<u>機能</u>

・CSV形式ファイルをアップロードします。

<u>操作</u>

・「ファイルアップロード」画面を表示します。

・設定したファイルは、[登録済みCSV形式ファイルー覧]リストに表示されます。

(3) [ダウンロード]ボタン

<u>機能</u>

・登録済みCSV形式ファイルをダウンロードします。

<u>操作</u>

・フォルダー選択ダイアログを表示し、ダウンロード先を選択させます。

・ダウンロード後、「CSV形式ファイル選択」画面を表示します。

(4)[削除]ボタン

<u>機能</u>

・登録済みCSV形式ファイルを削除します。

<u>操作</u>

・「ファイル削除」画面を開き、「登録済みCSV形式ファイル一覧」リストで選択したファイルを 削除します。

・削除したファイルは、「登録済みCSV形式ファイルー覧」リストから削除されます。

(5)[元のデータ形式]グループ

CSV形式ファイルの各項目をタブ区切りで読み込むか、またはカンマ区切りで読み込むかを指定します。

①[タブによって区切られたデータ]ラジオボタン

<u>機能</u>

・CSV形式ファイルの各項目をタブ区切りで読み込みます。

操作

・CSV形式ファイルのデータ形式がタブによって区切られている場合にチェックします。

②[カンマによって区切られたデータ]ラジオボタン

機能

・CSV形式ファイルの各項目をカンマ区切りで読み込みます。

<u>操作</u>

・CSV形式ファイルのデータ形式がカンマによって区切られている場合にチェックします。

(6)[次へ]ボタン

<u>機能</u>

・次の画面を表示します。

<u>操作</u>

・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(7)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「基本情報」タブを表示します。

<u>CSV 形式ファイルを設定する</u>

図 6.1.2-2 「ファイルアップロード」画面

DocWays AutoFAX - ファイルアップロード	
	OK キャンセル
アップロードするファイルを選択してください。 ファイル :	
C:\Users\Administrator\Desktop\〇〇〇市役所FAX番号一覧表.tsv 参照	
	OK キャンセル

(1) [ファイル名] 入力ボックス

機能

・FAX番号情報を検索キーに、CSV形式ファイルからFAX番号を自動で取得します。

・その検索元となるCSV形式ファイルのファイル名を指定します。

<u>操作</u>

・フルパス名で指定します。この項目は省略できません。

(2)[参照]ボタン

<u>機能</u>

・CSV形式ファイルのファイル名をダイアログから指定します。

・ダイアログで指定されたファイル名を[ファイル名]入力ボックスに設定します。

操作

・Windowsの「ファイルを開く」ダイアログを表示します。

(3)[OK]ボタン

機能

・選択したファイルを登録し、CSV形式ファイルー覧リストに表示します。

操作

・設定した項目に誤りがある場合、警告メッセージを表示します。

(4) [キャンセル] ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「CSV形式ファイル選択」画面を表示します。

<u>CSV 形式ファイルを削除する</u>

図 6.1.2-3 「ファイル削除」画面

(j) DocWays AutoFAX - ファイル削除	
削除しようとしているファイルは他のフローで使用されている可能性があります。 削除した場合、このファイルを使用しているフローの実行は失敗します。	
以下のファイルを削除してよろしいですか?	
ファイル名: 〇〇〇市役所FAX番号一覧表.tsv 更新日時: 2021/10/18 18:53:46	
	ок <i>+7>t21</i>

(1)[OK]ボタン

機能

・「CSV形式ファイル選択」画面から登録済みのCSV形式ファイル一覧から削除します。

・登録済みのCSV形式ファイルを削除します。

<u>操作</u>

・登録済みのCSV形式ファイルを削除します。

(2)[キャンセル]ボタン

機能

・処理を中断し「CSV形式ファイル選択」画面を表示します。

取得元となるデータ(列項目)の指定

図 6.1.2-4 「送信情報変換項目選択」画面

	DocWays AutoFAX -	送信情報変換項目選択			
					< 戻る 完了 キャンセル
宛先変打	換キー/FAX番号の検索元とな	なる列をプレビューより選択してください。 -			ヘルプ
項日母(選択後、	に、最大Tシまで運択できまり 、[完了]をクリックしてくださ	°			
No	データ		No	データ	
01	ID	▲ 宛先変換キー ==>	1	ID	
02	名前				
03	ふりがな				
04	社名				
05	部署				
06	住所				
•7	FAX番号				
08	外線 内線		No	データ	
09	電話番号	FAX番号 ==>	7	FAX番号	
010	電子メール	~			
					<戻る 完了 キャンセル

(1)[CSV データ項目]リスト

<u>機能</u>

・CSV形式ファイルの1行目に対して、指定した区切り文字(タブ、またはカンマ)で分割します。 分割した個々のデータ(列項目)をリスト形式で表示します。

操作

- ・リストの内訳は以下の通りです。
 - ①No.→分割したデータ(列項目)の列番号を表示します。
 - ②データ→1行目に設定しているデータの内容を表示します。

(2) [宛先変換キー] ボタン

[宛先変換キー]リスト

<u>機能</u>

- ・宛先変換キーの取得元となるデータ(列項目)を指定します。
- ・ここで指定したデータ(列項目)を、[基本情報]タブー[送信先を指定するための設定をこ こで行います]グループより取得したFAX番号情報で検索します。

<u>操作</u>

- ・[CSVデータ項目]リストより宛先変換キーの取得元となるデータ(列項目)を選択します。
- ・[宛先変換キー]ボタンをクリックします。
- ・[宛先変換キー]リストに選択したデータの内容を表示します。
- ・最大1つまで選択できます。この項目は省略できません。

(3)[FAX 番号]ボタン

[FAX 番号]リスト

機能

- ・FAX番号の取得元となるデータ(列項目)を指定します。
- ・[宛先変換キー]ボタン/[宛先変換キー]リストで指定したデータ(列項目)内と[基本情報]タブー[送信先を指定するための設定をここで行います]グループより取得したFAX番号 情報がマッチする行から、ここで指定したデータ(列項目)をFAX番号として取得します。
- <u>操作</u>
 - ・[CSVデータ項目]リストよりFAX番号の取得元となるデータ(列項目)を選択します。
 - ・[FAX番号]ボタンをクリックします。
 - ・[FAX番号]リストに選択したデータの内容を表示します。
 - ・最大1つまで選択できます。この項目は省略できません。

(4)[戻る]ボタン

<u>機能</u>

・一つ前の画面を表示します。

(5)[完了]ボタン

<u>機能</u>

・設定内容を保存し「基本情報」タブを表示します。

(6)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「基本情報」タブを表示します。

6.2 [文書情報] タブ

[文書情報] タブは、DocWaysの宛先フォルダーに格納する文書、つまりFAX送信文書 についてどのような文書を作成するのかを設定するための画面です。

「DocWays AutoFAX設定」画面にて [文書情報] タブを選択してください。図6.2の画 面を表示します。画面および操作について説明します。

🗞 DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定	
	0K キャンセル
名称: DocWays AutoFAX	
<u>基本情報</u> 文書情報 <u>バージョン情報</u>	
ここでは、送信する文書の内容について設定します。 送信文書の内容 新しいページを作成し、元の文書の先頭に合成して送信する ✔	ملاح
元文書の送信するページ ○すべてのページを送信する ●指定したページを送信する 1,3,4-8	
 □ 連続ペーシが元义書のページよりも大さい場合、元义書の最終ペーシに置き換える 新しく作成するページの内容について設定します。 □ 背鼻にテンプレート文書を使用する FAX送信表①.xdw □ 元文書の任意のページを貼り付ける 貼り付けるページ 	
ページ(1~999): 1 縮小率(25~100%): 25	
貼り付け位置 上から(0~500mm): 190 左から(0~500mm): 25	
コメントの設定(ページイメージ表示)	
	OK キャンセル

(1)[送信文書の内容]コンボボックス

<u>機能</u>

・DocWaysの宛先フォルダーに格納するDocuWorks文書の種類を設定します。

図 6.2 [文書情報]タブ

<u>操作</u>

・次の種類が選択できます。

①元の文書をそのまま送信する

ApeosWare Flow Managementから取り込んだDocuWorks文書をそのまま宛先フォ ルダーに格納します。

②新しいページを作成して、そのページを送信する

1ページからなる新規DocuWorks文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

③新しいページを作成し、元の文書の先頭に合成して送信する

ApeosWare Flow Managementから取り込んだDocuWorks文書の先頭にページを挿入して、宛先フォルダーに格納します。

④新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する

ApeosWare Flow Managementから取り込んだDocuWorks文書をイメージとして貼り 付けた新規DocuWorks文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

(2)[すべてのページを送信する]ラジオボタン

<u>機能</u>

・DocuWorks文書の全てのページを、送信の対象とします。

<u>操作</u>

・DocuWorks文書をそのまま送信する場合に、チェックします。

(3) [指定したページを送信する] ラジオボタン

機能

・DocuWorks文書から指定したページのみを抽出し、送信の対象とします。

<u>操作</u>

・DocuWorks文書から、指定したページのみを抽出し送信する場合に、チェックします。

(4) [指定したページを送信する] 入力ボックス

<u>機能</u>

・DocuWorks文書から、抽出するページを指定します。

・[指定したページを送信する]ラジオボタンがチェックされた場合のみ指定できます。

<u>操作</u>

・最大64字(半角相当)まで指定可能です。

・半角数字、「、(半角カンマ)」および、「-(半角ハイフン)」のみ入力可能です。

例)

1ページのみ

2 : 2ページ目の指定

単ページ毎の指定

1,2,5 : 1ページ目、2ページ目、5ページ目の指定

連続ページの指定

3-7:3ページ目から7ページ目までの指定

単ページ毎と連続ページの組み合わせ

1,3-7,2 : 1ページ目、3ページ目から7ページ目まで、2ページ目の指定

注意)

※ 単ページ指定の場合、指定したページが元文書のページ数よりも大きい場合、このペ ージは対象外となります。

(5) [連続ページが元文書のページよりも大きい場合、元文書の最終ページに置き換える] チェックボック ス

機能

・[指定したページを送信する]入力ボックスにおける連続ページの指定で、指定したページが 実際のページ数よりも大きい場合、実際の最終ページに置き換えて処理するかどうかを指 定します。

<u>操作</u>

・最終ページで置き換える場合に選択します。

注意)

- ※ [送信文書の内容]コンボボックスで「元の文書をそのまま送信する」、「新しいページを 作成し、元の文書を合成して送信する」が選択されている場合は、常にONとなります。
- (6) [背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス

<u>機能</u>

新しいDocuWorks文書(1ページ)を作成する際、テンプレート文書から取得した先頭ページを使用するかどうかを指定します。

<u>操作</u>

- ・新しいDocuWorks文書(1ページ)にテンプレート文書を使用する場合に選択します。
- ・[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックスを選択した場合、テンプレート文書の 指定が必要となります。

注意)

- ※新しいページを作成する場合は、[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス、 [元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックス、「コメントの設定」画面ー[任意の文字列を貼り付ける]、[属性を貼り付ける]チェックボックスのうち、一つ以上がチェックされている必要があります。
- ※ [背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックスを選択しない場合は、新しい DocuWorks文書(1ページ)のサイズはA4たてとなります。
- (7) [背景にテンプレート文書を使用する]表示ボックス

<u>機能</u>

・「テンプレート文書選択」画面で設定されたテンプレート文書のファイル名を表示します。

(8)[選択]ボタン

<u>機能</u>

・使用するテンプレート文書を指定します。

・「テンプレート文書選択」画面を表示し背景に使用するテンプレート文書を設定します。

<u>操作</u>

・「テンプレート文書選択」画面を表示します。

(9) [元文書の任意のページを貼り付ける] チェックボックス

<u>機能</u>

・作成するページに、DocuWorks文書の特定のページ(イメージ)を貼り付けるかどうかを指定 します。

<u>操作</u>

- ・DocuWorks文書の特定のページ(イメージ)を貼り付ける場合に選択します。
- ・[ページ]入カボックス、[縮小率]入カボックス、[上から]入カボックス、[左から]入カボッ クスで貼り付けるページ・縮小率・貼り付け位置を指定します。
- 注意)
 - ※新しいページを作成する場合は、[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス、 [元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックス、「コメントの設定」画面ー[任意の文字列を貼り付ける]、[属性を貼り付ける]チェックボックスのうち、一つ以上がチェックされている必要があります。
 - ※ [送信文書の内容]コンボボックスで「新しいページを作成し、元の文書を合成して送 信する」が選択されている場合は、常にONとなります。

(10)[ページ]入力ボックス

<u>機能</u>

・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページ を指定します。

<u>操作</u>

・1~999ページの間で指定します。

・初期値=1ページです。

注意)

※ [送信文書の内容]コンボボックスで「新しいページを作成し、元の文書を合成して送 信する」が選択されている場合は、ページの指定はできません。 (11)[縮小率]入力ボックス

<u>機能</u>

・[元文書の任意のページを貼り付ける] チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページの縮小率を指定します。

<u>操作</u>

・25~100%の間で指定します。

・初期値=50%です。

(12)[上から]入力ボックス

<u>機能</u>

・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページ の上からの位置を指定します。

<u>操作</u>

・0~500mmの間で指定します。

・初期値=0mmです。

(13)[左から]入力ボックス

機能

・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページ の左からの位置を指定します。

<u>操作</u>

•0~500mmの間で指定します。

初期値=0mmです。

(14)[コメントの設定]ボタン

<u>機能</u>

・送信する文書にコメントを付加したい場合、文字列や書式を設定します。

<u>操作</u>

・「コメントの設定」画面を表示します。

(15) [ページイメージ表示]ボタン

<u>機能</u>

・作成する文書のイメージを表示します。

・元文書のイメージは、A4たての矩形イメージで表示されます。

<u>操作</u>

・作成する文書のイメージをブラウザ上に表示します。

6.2.1 「テンプレート文書選択」画面

「テンプレート文書選択」画面は、背景に使用するテンプレート文書ファイルを登録す る画面です。

		<u> </u>	-		
	D	ocWays AutoFAX - テンプレ-	- 卜文書選択		
					OK キャンセル
背	裏に使	用するテンプレート文書を設定します。			
テ. 既	ンプレ こ登録	ァート文書を設定後、[OK]をクリックして。 されているテンプレート文書を編集したい	ください。 い場合は、ファイルをダウンI	コード後、アップロードを実施してください。	
	テンフ	プレート文書一覧			
	-	ファイル名	更新日時	アップロード	
	0	eigyo.xbd	2021/10/18 19:27:49		
	0	FAX送付状.xdw	2021/10/18 19:28:01	創除	
	۲	FAX送信表①.xdw	2021/10/18 19:24:11		
	0	soumu.xbd	2021/10/18 19:28:11		
	0	syanai.xbd	2021/10/18 19:28:22		
	0	事業提携契約.xdw	2021/10/18 19:28:30		
					OK #7521

図 6.2.1-1 「テンプレート文書選択」画面

(1)[テンプレート文書一覧]リスト

<u>機能</u>

・登録済みのテンプレート文書一覧を表示します。

操作

・登録済みのテンプレート文書のファイル名とファイルの更新日時を表示します。

(2) [アップロード]ボタン

<u>機能</u>

・テンプレート文書をアップロードします。

<u>操作</u>

・「ファイルアップロード」画面を表示します。

・設定したファイルは、[テンプレート文書一覧]リストに表示されます。

(3) [ダウンロード] ボタン

<u>機能</u>

・登録済みテンプレート文書をダウンロードします。

<u>操作</u>

・フォルダー選択ダイアログを表示し、ダウンロード先を選択させます。

・ダウンロード後、「テンプレート文書選択」画面を表示します。

(4)[削除]ボタン

<u>機能</u>

・登録済みテンプレート文書を削除します。

操作

・「ファイル削除」画面を開き、「テンプレート文書一覧」リストで選択したファイルを削除しま す。

・削除したファイルは、「テンプレート文書一覧」リストから削除されます。

(5)[OK]ボタン

<u>機能</u>

・テンプレート文書を指定します。

・選択したテンプレート文書を[背景にテンプレート文書を使用する]表示ボックスに設定しま す。

<u>操作</u>

・「文書情報」タブに遷移します。

(6)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「文書情報」タブに遷移します。

<u>テンプレート文書を設定する</u>

図 6.2.1-2 「ファイルアップロード」画面

DocWays AutoFAX - ファイルアップロード	
	0K (キャンセル
アップロードするファイルを選択してください。 ファイル :	
C:\Users\Administrator\Desktop\FAX送信表①.xdw 参照	
	ок <i>+т>tzl</i>

(1)[ファイル名]入力ボックス

<u>機能</u>

・テンプレート文書のファイル名を指定します。

<u>操作</u>

・フルパス名で指定します。この項目は省略できません。

(2)[参照]ボタン

<u>機能</u>

・テンプレート文書のファイル名をダイアログから指定します。

・ダイアログで指定されたファイル名を[ファイル名]入力ボックスに設定します。

<u>操作</u>

・Windowsの「ファイルを開く」ダイアログを表示します。

(3)[OK]ボタン

<u>機能</u>

・選択したファイルを登録し、テンプレート文書一覧リストに表示します。

<u>操作</u>

・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(4)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し「テンプレート文書選択」画面を表示します。

テンプレート文書ファイルを削除する

図 6.2.1-3 「ファイル削除」画面

(i) DocWays AutoFAX - ファイル削除

削除しようとしているファイルは他のフローで使用されている可能性があります。 削除した場合、このファイルを使用しているフローの実行は失敗します。

以下のファイルを削除してよろしいですか?

ファイル名: FAX送信表①.xdw 更新日時: 2021/10/18 19:24:11

OK キャンセル

(1)[OK]ボタン

<u>機能</u>

「テンプレート文書選択」画面に登録済みのテンプレート文書一覧から選択したテンプレー
 ト文書を削除します。

<u>操作</u>

・登録済みのテンプレート文書を削除します。

(2)[キャンセル]ボタン

機能

・処理を中断し「テンプレート文書選択」画面を表示します。

6.2.2 「コメントの設定」画面

「コメントの設定」画面は、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management が新 しく作成する DocuWorks 文書 (1ページ) にコメントを付加するための画面です。

は、コメントの内容について設定します。 任意の文字列を貼り付ける ありがとうございました。 取った受け取りました。 エイセル株式会社 ク受信日時を含める グ受信日時を含める グ受信ロ時を含める グ受信ロ時を含める グ受信ロ時を含める グ受信ロ時を含める グ受信ロ時を含める グ受信ロ時を含める グラゲーン数を含める グラゲーン数を含める グラゲーンジング		ок	+v:
は、コメントの内容について設定します。 任意の文字列を貼り付ける ありがとうございました。 市から(0~500mm): 155 エイセル林式会社 2 スタイル変更 受信日時を含める 受信日時を含める 受信日時を含める 受信日時を含める 受信日時を含める 受信日時を含める 「受信日時を含める 「受信へ-500mm): 135 生から(0~500mm): 115 たから(0~500mm): 110			
	、 コメノトの内谷について設定します。 (音か立向和お貼り付けて ―――――		
BD 1 が 5 0 ございました。 T イセル株式会社 Lから(0~500mm): ISS Z クイル変更 G 個目時を含める V 受信日時を含める V 受信日時 V Z クイル変更 BD 1 がら(0~500mm): ISS z から(0~500mm): ISS Z クイル変更	主息の文子列を貼り付ける		
	ありがとうございました。	照り付け位置 上から(0~500mm):	
たから(0~500mm): 25 ご受信口時を含める ご受信口時を含める ご受信マージ数を含める ご送信ページ数を含める ご送信ページ数を含める 実道事性:ジョブ受付日時 レ スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100	エイセル株式会社 🗸	155	
スタイル変更 ごろ スタイル変更 ご受信口時を含める 「受信マージ数を含める 「受信マージ数を含める 「実通属性:ジョブ受付日時 マ スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 「155 左から(0~500mm): 100 100		左から(0~500mm):	
スタイル変更		25	
	スタイル変更		
図 受信ページ数を含める 図 送信ページ数を含める 属性を貼り付ける 実通属性:ジョブ受付日時 メ スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100		☑受信日時を含める	
図送信ページ数を含める 属性を貼り付ける 共通属性ショブ受付日時 スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100		✓ 受信ページ数を含める	
属性を貼り付ける		☑送信ページ数を含める	
左から(0~500mm): 100	■性を貼り付ける 	v	
またの追加 100	属性を貼り付ける	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155	
属性の追加	電性を貼り付ける	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): [155 たから(0.500mm):	
	電性を貼り付ける 供通属性ショブ受付日時 スタイル変更	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100	
	電性を貼り付ける 供道属性ショブ受付日時 スタイル変更 属性の2000	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100	
■性を選択してください ✓	電性を貼り付ける 共通属性ショブ受付日時 スタイル変更 開生を選択してください…	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100	
■性を選択してください… ✓ スタイル変更 貼り付け位置	国性を貼り付ける (共通開性:ジョブ受付日時 // スタイル変更 // スタイル変更 // 原性を選択してください (見せを選択してください (スタイル変更 // スタイル変更 // スタイル変更 // スタイル変更 // スタイル変更 // スタイル変更 // (大さい)	▶ ▶ ▶ ▶ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ □	
属性を選択してください… マ スタイル変更 貼り付け位置 トから(0~500mm)・	福性を貼り付ける 共通属性ショブ受付日時 スタイル変更 属性を選択してください スタイル変更	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100 ✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm):	
属性を選択してください マ スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): 0	電性を貼り付ける 共通属性:ジョブ受付日時 スタイル変更 属性を選択してください… スタイル変更	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): I55 左から(0~500mm): I00 ✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 0	
属性を選択してください ・ スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): 0 ・ ・	電性を貼り付ける 供道属性:ジョブ受付日時 スタイル変更 属性を選択してください スタイル変更	✓ 貼り付け位置 上から(0~500mm): 155 左から(0~500mm): 100 貼り付け位置 上から(0~500mm): 0 したから(0~500mm): 0	
属性を選択してください ・ スタイル変更 貼り付け位置 上から(0~500mm): ・ 0 ・ 左から(0~500mm): ・	電性を貼り付ける 供道属性:ジョブ受付日時 スタイル変更 属性を選択してください スタイル変更	▲ り付け位置 上から(0~500mm): 五から(0~500mm): ▲ り付け位置 上から(0~500mm): 0 広から(0~500mm):	

図 6.2.2 「コメントの設定」画面

(1)[任意の文字列を貼り付ける]チェックボックス

<u>機能</u>

・作成するDocuWorks文書(1ページ)に、任意文字列のコメントを貼り付けるかどうかを指 定します。

操作

・コメントに任意の文字列を付加する場合にチェックします。

<u>注意)</u>

※新しいページを作成する場合は、「背景にテンプレート文書を使用する」チェックボックス、 「元文書の任意のページを貼り付ける」チェックボックス、「コメントの設定」画面ー「任意の 文字列を貼り付ける」、「属性を貼り付ける」チェックボックスのうち、一つ以上がチェックされ ている必要があります。

(2)[コメントの内容]入力ボックス

機能

・[任意の文字列を貼り付ける]チェックボックスをチェックした場合に、貼り付けるコメントを指 定します。

・[スタイル変更]ボタンでスタイル(フォント名、スタイル、サイズ)を設定することができます。

<u>操作</u>

・最大200字(半角相当)まで指定可能です。

(3)[スタイル変更]ボタン

<u>機能</u>

・貼り付けるコメント文字列のスタイル(フォント名、スタイル、サイズ)を設定します。

<u>操作</u>

・「フォント設定」画面を表示します。

(4)[上から]入力ボックス

<u>機能</u>

・貼り付けるコメントの上からの位置を指定します。

<u>操作</u>

・0~500mmの範囲内で指定します。

初期値=0mmです。

(5)[左から]入力ボックス

<u>機能</u>

・貼り付けるコメントの左からの位置を指定します。

<u>操作</u>

・0~500mmの範囲内で指定します。

初期値=0mmです。

(6)[受信日時を含める]チェックボックス

<u>機能</u>

・貼り付けるコメントにDocuWorks文書の受信日時を付加するかどうかを指定します。

・設定したコメントの下部に付加されます。

・親展ボックスに蓄積されたFAX文書の受付日時が付加されます。

<u>操作</u>

・受信日時を付加する場合にチェックします。

(7) [受信ページ数を含める] チェックボックス

<u>機能</u>

・貼り付けるコメントに受信ページ数を付加するかどうかを指定します。

・設定したコメントの下部に付加されます。

・DocuWorks文書の総ページ数が付加されます。

<u>操作</u>

・受信ページ数を付加する場合にチェックします。

(8) [送信ページ数を含める] チェックボックス

<u>機能</u>

・貼り付けるコメントに送信ページ数を付加するかどうかを指定します。

・設定したコメントの下部に付加されます。

・DocuWorks文書の総ページ数が付加されます。

<u>操作</u>

・送信ページ数を付加する場合にチェックします。

(9) [属性を貼り付ける] チェックボックス

<u>機能</u>

・作成するDocuWorks文書(1ページ)に、属性情報を貼り付けるかどうかを指定します。

<u>操作</u>

・コメントに属性情報を付加する場合にチェックします。

(10)[属性を貼り付ける]コンボボックス

<u>機能</u>

・[属性を貼り付ける]チェックボックスをチェックした場合に、属性を指定します。

・[取り込み元]および、[加工方法]で設定された各機能の属性を表示します。

操作

・「フローの新規作成/編集」画面の各種属性の中から任意の属性を選択します。

(11)[スタイル変更]ボタン

機能

・貼り付ける属性情報文字列のスタイル(フォント名、スタイル、サイズ)を設定します。

操作

・「フォント設定」画面を表示します。

(12)[上から]入力ボックス

機能

・貼り付ける属性情報文字列の上からの位置を指定します。

<u>操作</u>

・0~500mmの範囲内で指定します。

初期値=0mmです。

(13) [左から] 入力ボックス

<u>機能</u>

・貼り付ける属性情報文字列の左からの位置を指定します。

<u>操作</u>

・0~500mmの範囲内で指定します。

・初期値=0mmです。

- (14)[属性の追加]ボタン
 - <u>機能</u>
 - ・属性情報のコメントを追加します。
 - ・最大5つまで属性情報のコメントを登録することができます。
- (15)[属性の削除]ボタン

<u>機能</u>

・属性情報のコメントを削除します。

(16)[OK]ボタン

<u>機能</u>

・設定内容を保存し画面を閉じます。

(17)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し画面を閉じます。

6.2.3 「フォント設定」画面

「フォント設定」画面は、コメントに貼り付ける文字列や属性のスタイルを設定するための画面です。

図 6.2.3	「フォント設定」画面
---------	------------

🔌 DocWays AutoFAX - フォント設定	
	OK キャンセル
フォント名: メイリオ マ	
スタイル: 太字 斜体 ・	
サイズ: 12 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	OK キャンセル

(1) [フォント名] コンボボックス

<u>機能</u>

・使用するフォントを選択します。

<u>操作</u>

・選択したフォントをコメントに使用します。

(2) [スタイル]コンボボックス

<u>機能</u>

・使用するスタイルを選択します。

<u>操作</u>

・選択したスタイルをコメントに使用します。

(3) [サイズ]コンボボックス

機能

・使用するサイズを選択します。

<u>操作</u>

・選択したサイズをコメントに使用します。

(4)[OK]ボタン

<u>機能</u>

・設定内容を保存し画面を閉じます。

(5)[キャンセル]ボタン

<u>機能</u>

・処理を中断し画面を閉じます。

6.3 [バージョン情報] タブ

[バージョン] タブは、本製品のバージョンを確認するための画面です。

「DocWays AutoFAX設定」画面にて [バージョン情報] タブを選択してください。図6.3 の画面を表示します。画面および操作について説明します。

図 6.3 [名称]タブ	
🗞 DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定	
	ОК (キャンセル
名称: DocWays AutoFAX	
基本情報 文書情報 バージョン情報	
DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Version 1.1.0 Copyright (C) 2014-2021 ACEL. Inc.	
	ОК <i>キャンセル</i>

(1)[バージョン情報]

<u>機能</u>

・本製品の製品名、バージョン情報、著作権が表示されます。

7. 実行結果ログ

7.1 実行結果ログ一覧

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementは、処理の実行結果をApeosWare Flow Managementへ通知します。この実行結果はApeosWare Flow Managementの「ジョブ管理」画面および、ログファイルにて確認できます。

ログファイルは以下の場所に出力されます。

ApeosWare Flow Management 1.xの場合)

<u><AWFMデータ格納先>¥awfm-geronimo¥var¥log¥AWFM-system-yyyy-mm-dd.log</u>

ApeosWare Flow Management 2.xの場合) <<u>AWFMデータ格納先>¥Logs¥FM¥awfm-geronimo¥AWFM-system-yyyy-mm-dd.log</u>

※<AWFMデータ格納先>はApeosWare Flow Managementのインストール時にご指定 されたフォルダーです。

ApeosWare Flow Management 1.xの例) C:¥Fuji Xerox¥ApeosWare_MS¥Data¥Flow Management

ApeosWare Flow Management 2.xの例) C:¥FUJIFILM¥ApeosWare MS¥Data

※yyyy-mm-ddは年・月・日の順番で表記されます。

なお「ジョブ管理」画面やログで表示される実行結果には、処理が正常に完了しなかっ た場合、以下の出力コードのみ出力されます。問題が発生した場合は、出力コードを元に メッセージ内容、および対処方法をご確認ください。

正常に処理が完了した場合、メッセージ内容の先頭には、"[DocWays AutoFAX]"という 固定文字列が出力されます。

出力	イッセージ内容	説明
コード	アクビーン内谷	対処方法(エラー時)
8800D000	ファイル:<文書ファイル名>の	正常に DocWays 宛先フォルダーへ DocuWorks
	FAX 送信を実行しました。	文書の格納を完了した場合
	DocWays 宛先フォルダー : [宛先	
	フォルダー名]	正常に処理が完了しました。特に対処の必要はあ
	ページ : [ページ数]	りません。

8800D001	環境設定の初期化に失敗しまし た。	処理に必要なファイルが見つからない場合
		システムを再起動してください。改善されなけれ ば、本ソフトウェアの再インストールを行ってく ださい。
8800D002	宛先変換情報ファイル:[文書フ ァイル名]が見つかりません。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、宛先変 換情報ファイルが見つからない場合
		指定した宛先変換情報ファイルが存在するかど うか確認してください。
8800D003	宛先変換情報ファイル:[文書フ ァイル名]のアクセスに失敗しま した。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、ファイ ルアクセスエラーが発生した場合
		 ・宛先変換情報ファイルのアクセス権を確認して ください。 ・指定した宛先変換情報ファイルを開いた状態で あれば、ファイルを閉じてください。
8800D004	宛先変換情報ファイル:[文書フ ァイル名]には送信情報が1つも 設定されていません。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、ファイルに FAX 送信情報が存在しない場合
		宛先変換情報ファイルに FAX 送信情報を登録し てください。
8800D005	宛先変換情報ファイル:[文書フ ァイル名]からFAX番号が取得で きませんでした。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、ファイ ル内から宛先変換キーに該当する FAX 番号が存 在しない場合
		宛先変換情報ファイルに宛先変換キーに該当する FAX 番号を登録してください。
8800D006	テンプレート文書:[文書ファイ ル名]が見つかりません。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定 したテンプレート文書ファイルが見つからない 場合
		指定したテンプレート文書ファイルが存在する かどうか確認してください。
8800D007	テンプレート文書:[文書ファイ ル名]は、セキュリティで保護さ れているためテンプレートとし て使用できません。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定 したテンプレート文書にセキュリティ(操作の制 限やパスワード)が設定されている場合
		テンプレート文書のセキュリティ保護を解除し てください。
8800D008	テンプレート文書:[文書ファイ ル名]は0ページ文書です。テン プレートとして使用できません。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定 したテンプレート文書のページ数が 0 である場 合

		1 ページ以上のテンプレート文書を指定してく
		ださい。
8800D009	テンプレート文書:[文書ファイ ル名]は、未サポートの DocuWorks 文書です。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定 したテンプレート文書の文書形式が不正な場合
		 ・拡張子が"xdw"の DocuWorks 文書または、 拡張子が"xbd"の DocuWorks バインダーを指定してください。 ・指定したテンプレート文書が DocuWorks Desk または DocuWorks Viewer で開けるかどうか確認してください。 ・改善されなければ、テンプレート文書を作成し直してください。
8800D00A	テンプレート文書からのページ 取得に失敗しました。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定 したテンプレート文書からの先頭ページ取得処 理に失敗した場合
		 ・指定したテンプレート文書が DocuWorks Desk または DocuWorks Viewer で開けるかどうか確 認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスク の空き容量があるかどうか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス 権に問題がないか確認してください。 ・改善されなければ、テンプレート文書を作成し 直してみてください。
8800D00B	空白ページ挿入に必要なファイ ルが見つかりません。	本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書が見 つからない場合
		本ソフトウェアの再インストールを行ってくだ さい。
8800D00C	空白ページ挿入用のファイルは、 セキュリティで保護されている ためテンプレートとして使用で	本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書がセ キュリティ保護されている場合
	きません。	本ソフトウェアの再インストールを行ってくだ さい。
8800D00D	空白ページ挿入用のファイルは、 0 ページ文書のためテンプレー トとして使用できません。	本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書のペ ージ数が 0 である場合
		本ソフ <u>トウェアの再インストールを</u> 行ってくだ さい。
8800D00E	空白ページ挿入用のファイルは、 未サポートの DocuWorks 文書で	本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書の文 書形式が不正な場合

	+	木ソフトウェアの再インストールを行ってくだ
	<i>)</i> 0	
8800D00F	カタログファイルの作成に失敗	DocWays 宛先フォルダーに格納するユーザカタ
	しました。	ログファイルの作成に失敗した場合
	DocWays 宛先フォルダー:[フォ	([詳細:XXXX]はシステムのエラーコード)
	ルダー名]	
	[詳細:XXXX]	
		・ネットワークが接続されているか、確認してく
		ださい。
		・DocWays 共有フォルダーが存在するかどうか
		確認してください。
		・DocWays 宛先フォルダーを設定しているディ
		スクの容量を確認してください。
		・DocWays 共有フォルダーおよび、DocWays 宛
		先フォルダーのアクセス権に問題がないか確認
		してください。
		・他ユーザー名で DocWays サーバーまたは、
		DocWays 共有フォルダーにアクセスしていない
		か確認してください。
		・エラーとなったジョブの再実行を行ってみてく
		ださい。
		・設定したユーザー名とパスワードを確認してく
		ださい。
		・対象のフロー情報を再設定してくたさい。
		・ 改善されなければ、DocWays 共有フォルター
		を一旦解除し、共有フォルターを再設定してくた
		さい。またシステムの再起動およい、本ソフトワ
		エアの冉インストールを行ってくたさい。
8800D010	指定ページの取得に生敗しまし	DoouWowka立書から指定したページを抽出し声
00000010	市たい、シの取得に入放しよし	わて1 文書にする処理で失敗した場合
	/~。 ファイル名:[文書ファイル名]	
		・DocuWorks 文書から 1 ページ以上の
		DocuWorks 文書が作成可能なページ指定を行っ
		ているかどうか確認してください。
		・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスク
		の空き容量があるかどうか確認してください。
		 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス
		権に問題がないか確認してください。
8800D011	FAX 送信設定情報の取得に失敗	設定したフロー情報の取得に失敗した場合
	しました。	設定したフロー情報に本ソフトウェアのフロー
		情報がない場合
		フロー情報用のメモリ領域の確保ができなかっ
		た場合
		設定したフロー情報の内容が不正な場合

		対象のフロー情報を再設定してください。改善さ れなければ、システムの再起動を行ってくださ い。
8800D012	ファイル:[文書ファイル名]が見 つかりません。	処理対象のDocuWorks文書が見つからない場合 処理を再実行してください。改善されなければ、 システムを再起動してください。
8800D013	ファイル : [文書ファイル名]は、 セキュリティで保護されている ため FAX 送信できません。	処理対象の DocuWorks 文書にセキュリティ(操 作の制限やパスワード)が設定されている場合 処理対象のDocuWorks文書のセキュリティ保護 を解除してください。
8800D014	ファイル:[文書ファイル名]は、0 ページ文書のため FAX 送信でき ません。	処理対象の DocuWorks 文書のページ数が 0 であ るため処理できない場合 1ページ以上の DocuWorks 文書を処理対象とし てください。
8800D015	ファイル:[文書ファイル名]は、未 サポートの DocuWorks 文書で す。	本ソフトウェアがサポートしていないバージョ ンの DocuWorks 文書のため、FAX 送信できな い場合 本ソフトウェアがサポートしているバージョン
8800D016	ファイル:[文書ファイル名]か ら、先頭ページに貼り付けるイメ ージを取得できませんでした。	の DocuWorks 文書を指定してくたさい。 DocuWorks 文書の特定のページ(イメージ)を貼 り付ける処理において、指定されたページのイメ ージが取得できなかった場合
		 ・フロー情報に設定した DocuWorks 文書の特定 のページに問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス 権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスク の空き容量に問題がないか確認してください。
8800D017	ファイル:[文書ファイル名]を作 業用フォルダー:[フォルダー名] にコピーできませんでした。	DocuWorks 文書を、本ソフトウェアの作業用フ ォルダーへのコピーに失敗した場合 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス 権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスク
8800D018	ジョブから属性情報:[属性表示 名]の取得に失敗しました。	の空き容量に問題がないか確認してください。 [基本情報]タブー[送信先を指定するための設 定をここで行います] グループで設定した FAX 番号情報を取得できなかった場合

		対象のフロー情報を再設定してください。
8800D019	送信先から取得した値:[属性値] は、FAX 番号として使用できま せん。	[基本情報]タブー[送信先を指定するための設 定をここで行います] グループで設定した FAX 番号情報が、FAX 番号として使用できない情報 の場合
		指定した ApeosWare Flow Management の属性 が FAX 番号として適切な内容かどうか、確認し てください。改善されなければ、対象のフロー情 報を再設定してください。
8800D01A	ファイル:[文書ファイル名]はサ ポートしていないファイル形式	処理対象の文書がDocuWorks文書ではない場合
	です。	本ソフトウェアが処理する文書を、拡張子 が "xdw"の DocuWorks 文書または、拡張子 が "xbd"の DocuWorks バインダーとなるよう にフロー情報を設定してください。
8800D01B	FAX 送信文書の作成に失敗しました。	DocuWorks 文書から指定されたページの抽出お よび束ねる処理でエラーが発生した場合
		 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス 権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスク の空き容量に問題がないか確認してください。 ・DocuWorksを起動していた場合、終了してみ てください。改善されなければ、処理の再実行ま たは、システムを再起動してください。
8800D01C	FAX 送信文書へのアノテーション貼り付けに失敗しました。	DocuWorks 文書の特定のページ(イメージ)を貼 り付ける処理または、コメント貼り付け処理にお いて、アノテーションの貼り付けができなかった 場合
		 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス 権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスク の空き容量に問題がないか確認してください。 ・DocuWorksを起動していた場合、終了してみ てください。改善されなければ、処理の再実行ま たは、システムを再起動してください。
8800D01D	DocWays 宛先フォルダー:[宛先 フォルダー名]へのアクセスに失 敗しました。	DocWays 宛先フォルダーにアクセスできなかっ た場合 ([詳細:XXXX]はシステムのエラーコード)

	[詳細· YYY]	・ネットワークが控続されているか、確認してく
		・ インノーン シルゴ安和 さんしてい つか、 4世郎 してく
		ルビッ。 ・ DeeWays 世友フォルダーが友友するかどうか
		Docways 六百ノオルターが行任す GMで C JMで 確認してください
		確応してくたとい。 ・ DeeWays 毎年フォルダーを設定しているディ
		・Docways 死ルノオルターを設定しているノイ スカの宏景を確認してください
		ハノの谷里で確認してくたとい。 ・DeeWaya サ右フェルダーな上び DeeWaya 宏
		+ Docways $共行 / 4 / b / b$ おより、Docways $2生フェルダーのアクセス 海に 問題が かいか 確認$
		してください
		・他ューザータで DeeWave サーバーまたけ
		E =
		bocways 英情シネルターにノタ とべしていない か確認してください。
		・エラーとなったジョブの再実行を行ってみてく
		ださい。
		 ・設定したユーザー名とパスワードを確認してく ださい。
		・対象のフロー情報を再設定してください。
		・改善されなければ、DocWays 共有フォルダー
		を一日解除し、共有フォルダーを再設定してくだ
		さい。またシステムの再起動および、本ソフトウ
		ェアの再インストールを行ってください。
8800D01E	ファイル:[文書ファイル名]のコ	DocWays 宛先フォルダーへファイルの格納がで
	ピーに失敗しました。	きなかった場合
	DocWays 宛先フォルダー:[宛先	([詳細:XXXX]はシステムのエラーコード)
	フォルダー名]	
	[詳細:XXXX]	・ネットワークが接続されているか、確認してく
		ださい。
		・DocWays 共有フォルダーが存在するかどうか
		確認してください。
		・DocWays 宛先フォルダーを設定しているディ
		スクの容量を確認してください。
		・DocWays 共有フォルダーおよび、DocWays 宛
		先フォルダーのアクセス権に問題がないか確認
		してください。
		・他ユーザー名で DocWays サーバーまたは、
		DocWays 共有フォルダーにアクセスしていない
		か確認してください。
		・エラーとなったジョブの再実行を行ってみてく
		ださい。
		・設定したユーザー名とパスワードを確認してく
		ださい。
		・対象のフロー情報を再設定してください。
		・改善されなければ、DocWays 共有フォルダー
		を一旦解除し、共有フォルダーを再設定してくだ
		さい。またシステムの再起動および、本ソフトウ
		ェアの再インストールを行ってください。
8800D01F	DocuWorks 文書の処理中にエラ ーが発生しました。 ファイル:[文書ファイル名] [詳細:XXXX]	DocuWorks 文書のチェック時に上記以外のエラ ーが発生した場合 ([詳細:XXXX]は DocuWorks API のエラーコー ド)
----------	---	--
		DocuWorks 文書を確認してください。改善され なければ、システムの再起動および、本ソフトウ ェアの再インストールを行ってください。
8800D020	コメントに貼り付ける属性情 報:[属性表示名]の取得に失敗し ました。	コメントに貼り付ける属性情報を取得できなか った場合 対象のフロー情報を再設定してください。

8. 注意/制限事項

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementを使用する場合の注意/制限事項について説明しています。

8.1 FAX 番号について

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementでは、FAX番号を次のように扱います。

- FAX番号で指定可能な文字は、以下を除いた半角(ASCII)文字とします。
 ¥"
- ・最大40字(半角相当)まで指定可能です。
- ・同報FAX送信を行う場合は、最大512字(半角相当)まで指定可能です。
- ・文書からFAX番号を自動で読み取る場合に、読み取ったFAX番号の40文字(半 角相当)を超える部分は捨てられます。
- ・FAX番号の前後の空白は取り除かれます。
 - (空白付きFAX番号)
 (加工後のFAX番号)
 0311112222
 0311112222
- ・FAX番号に以下の文字が指定された場合、該当する文字を全て取り除いた形式に して送信します。

空白、ハイフン (・)、カンマ (,)、改行、タブ

- ・同報FAX送信を行う場合は、送信先のFAX番号を「;(半角セミコロン)」で区切る ことにより指定できます。
 - 指定したFAX番号の重複チェックは行いません。
 - 例) 0311112222;0633334444;.....

8.2 処理可能な文書ファイルについて

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementで処理可能な文書ファイルについて説明します。

- ・拡張子が"xdw"のDocuWorks文書をサポートします。
- ・拡張子が "xbd"のDocuWorksバインダーをサポートします。
- ・セキュリティ(操作の制限やパスワード)が設定されているDocuWorks文書/ DocuWorksバインダーは送信できません。

8.3 DocWays-共有フォルダー/宛先フォルダーについて

DocWays宛先フォルダーへファイルを格納するためには、「DocWays AutoFAX設定」画面で次の条件を満たすユーザー名を設定する必要があります。

- ・DocWays共有フォルダーのあるサーバーヘログオン可能であること。
- ・DocWays宛先フォルダーへファイルの読み書きが可能であること。

8.4 DocWays-使用する FAX プリンタの注意事項

DocWaysで使用するFAXプリンタに対して以下の機能が制限されます

- ・FAXプリンタに直接指定した宛先情報はすべて無視されます。
- ・FAXプリンタにて有効になる項目は、「送信シート」、「時刻指定送信」、「送信画質」、 「用紙に関連する情報」です。

8.5 Internet Explorer からのアップロードの注意事項

Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019 上で Internet Explorer からファイルのアップロードができない場合は、以下の手順を実施してください。

「スタート」メニュー横の「サーバーマネージャー」のアイコンをクリックします。

②「サーバーマネージャー」内の「IE ESC の構成」をクリックします。Windows Server 2012 以降では「ローカルサーバー」内の「IE セキュリティ強化の構成」の 設定値をクリックします。

③「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」メニューが表示されますので、 「オフ」を選択し、「OK」をクリックします。

④Internet Explorer を起動し、「警告: Internet Explorer セキュリティ強化の構成が有効になっていません」と表示されたら設定完了です。

8.6 CSV 形式ファイル読み込みに関する注意事項

UTF-8形式のCSV形式ファイルを使用して、送信情報変換項目画面を表示すると一覧のデータが文字化けして表示されることがあります。

UTF-8 形式は対応していないので、Sift-JIS 形式で保存した CSV 形式ファイルをご利用ください。

8.7 DocWays の宛先フォルダーについて

DocWays に登録されている宛先フォルダーが見つからない場合、Windows ファイアウォー ルの設定を行う必要があります。

以下に Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 にインストールされている DocWaysの宛先フォルダーを DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management で表 示する方法について説明します。

(1)

コン

トロールパネルから Windows ファイアウォールの詳細設定画面を開き、左側のツ リーから「受信の規則」をクリックします。

ファイルを 操作(A) 表示(Y) ヘルブ(H) ● ● 2 回 (B) 2 回 (B) ● ● 1 10 (D) 2 回 (B) ● ● 1 10 (D) 2 回 (B) ● ● 1 10 (D) 2 回 (B) ● ○ D-1h, 17/L1-9-00t41JFr. 2 0 0 0 Mays ● ○ DocWays 3 NUoyn 1/0-9- ● AUOyn 1/0-9- (ICP 受信) Alloyn 1/0-9- ● AUOyn 1/0-9- (ICP 受信) Alloyn 1/0-9- ● BranchCache 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache 177/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache 177/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 175/19/39 (HTTP-受信) BranchCache 177/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 177/19/4 (NJ) (D) (A + 7)(-7)-77/74 (X) (N/1) BranchCache 177/19/39 (HTTP-受信) BranchCache - 177/19/4 (NJ) (D) (A + 7)/7-77/74 (X) (N/1) BranchCache 177/19/39 (HTTP-受信) (D) (A + 7)/7-77/74 (X) (D) (A + 7)/7-77/74 (X) (N/1) (D) (A + 7)/7-77/74 (X) (N/1) (D) (A + 7)/7-77/74 (X) (N/1) (D) (A + 7)/7-177/74 (X) <	💣 セキュリティが強化された Window	s Defender ファイアウォール					<u>12</u>	п x
 ◆ ● ② 面 ③ ③ ③ ○ ● ○ □ □ □ □ □ □	ファイル(E) 操作(A) 表示(V)	√ルプ(<u>H</u>)						
	◆ ⇒ 2 🖬 🗟 🖬							
○ 注意の規則 ● DoxWays ● XUOyn JU-9- (TCP 受信) Alluon JU-9- FX/1、JL KUN 許可 ● Alluon JU-9- (TCP 受信) Alluon JU-9- FX/2、JL KUN 許可 ● Alluon JU-9- (TCP 受信) Alluon JU-9- FX/2、JL KUN 許可 ● BranchCache 275/19第4(HTP-受信) BranchCache - 275/19第4/L FX/2、JL KUN 許可 ● BranchCache 275/19第4(HTP-受信) BranchCache - 275/19第4/L FX/2、JL KUN 許可 ● BranchCache # Xh型#try>1 = //(-(HTL BranchCache - Xh型#try FX/2 KUN 許可 ○ Contana COM+ 475-0 77052 (COM-受信) COM+ 475-0 70752 (COM-受信) FX/2、JL KUN 許可 ○ Contana Contana FX/2、JL KUN 許可 ○ Delivery Optimization (TCP-In) Delivery Optimization (UDP-In) FX/2 KUN 許可 ○ Dial. JD-JU b-J/(-(HTTP 受信) Dial. JD-JU b-J/(- J7/4 KUN 第可 ○ Dial. JD-JU b-J/(-(HTTP 受信) Dial. JD-JU b-J/(- FX/2 KN 許可 ● JUAL JD-JU b-J/(-(HTTP 受信) Dial. JD-JU b-J/(- FX/2 KN 評可		受信の規則 条前 ^	<i>й</i> _–1	ว่าวรุสแ	有劲	温作 ^	操作 受信の規則	
● DocWays すべて はい 許可 iSCS1 サービス (TCP 受信) iSCS1 サービス すべて いいえ 許可 ● mDNS (UDP 受信) mDNS 方子パイト・ はい 許可 ● mDNS (UDP 受信) mDNS 方子パイト・ はい 許可 ● mDNS (UDP 受信) mDNS ブラパイト・ はい 許可 Netlogon サービス すバて いは、 許可 Netlogon サービス すべて いは、 許可 Secure Socket トウボリッグ プレトリン(STF) Secure Socket トウボリッグ プレトリン(STF) すべて いは、 許可 SNMP トラップ サービス (UDP 受信) SNMP トラップ デメイ いいえ 許可 SNMP トラップ サービス (UDP 受信) SNMP トラップ デメイ いいえ 許可 SNMP トラップ サービス (UDP 受信) SNMP トラップ ブメイ・トー・ ドメ1 いいえ 許可 TPM 仮想スマートカード管理 (DCOM 受信) TPM 仮想スマートカード ドメ1 いいえ 許可 TPM 仮想スマートカード管理 (DCOM 受信) TPM 仮想スマートカード管理 (DCOM	 ■ 「のかしうとす」> しにキョウト ■ 査値の規則 ■ 査値の規則 ■ 査視 > ■ 監視 	マロッルボウ 名相シッn ルーター (TCP 受信) Alluoyn ルーター (TCP 受信) BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信) BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信) BranchCache エント型・サッシュ サーバー (HTL. COM+ キットワーク アクセス (DCOM・受信) BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HTL. COM+ キットワーク アクセス (DCOM・受信) Cortana ② Delivery Optimization (TCP-In) ② Delivery Optimization (UDP-In) ② Dalu / ゴDトコル サーバー (HTTP 受信) ⑦ DAL / ゴDトコル (FTTP 受信) ⑦ DAS (UDP 受信) ⑦ mDNS (UDP 受信) ⑦ mDNS (UDP 受信) Netlogon サービス (NP 受信) Netlogon サービス (UDP 受信) NMP トラップ サービス (UDP 受信) SMBDirect でのファイル レンド管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマートカード管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマートカード管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマートカード管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマートカード管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマーカートア管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマーカートア管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマーカートアド管理 (ICD 受信) TPM 仮想スマーカートア管理	グルーブ AllJoyn ルーター AllJoyn ルーター BranchCache - ジブジツ取得… BranchCache - ビア検出 (WS… BranchCache - ビア (WS… Delvery Optimization Delivery Optimization DAL プロトコル サー/(- NS mDNS MDNS Netlogon サービス Secure Socket トンネリング ブ… SIMP トラッブ SIMP トラッブ TPM 仮想スマートカード管理 TPM 仮想スマートカード管理 TPM 仮想スマートカード管理 TPM 仮想スマートカード管理 TPM 仮想スマートカード管理 TPM 仮想スマートカード管理 TPM 仮想スマートカード管理	プロファイル すべて ドメイン、ブ… ドメイン、ブ… すべて すべて すべて すべて すべて すべて オペて ドメイン、ブ… すべて オペて ドメイン、ブ… すべて オペて ドメイン、ブ… すべて オペて ドメイン、ブ… なて オペて オペて オペて オペて オペて オペて オペて オペ	有はいいいいいははははいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	場 許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許許	¥fF	• • •
Windows Detender フィアクォールリモート Windows Defender フィアク・、すべて いいえ 許可 Windows Management Instrumentation (Windows Management Inst すべて いいえ 許可		Windows Defender ファイアウォール リモート Windows Management Instrumentation (Windows Defender ファイアウ Windows Management Instr	すべてすべて	いいえいいえ	許可許可		
Windows Management Instrumentation (Windows Management Instr すべて いいえ 許可 > <	< >	Windows Management Instrumentation (Windows Management Instr	すべて	いいえ	許可 ∨ >		

②次に右側の操作リストから「新しい規則」をクリックします。
 ③規則の種類では"プログラム"を選択し[次へ]をクリックします。
 ④プログラムには、DOCWSystem.exeのパスを入力し[次へ]をクリックします。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
プログラム この規則が一致するプログラムのデ	そ全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? • すべてのブログラム(A) 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 • このブログラムの代ス(T): • MProgramFilesW#ACEL¥DocWays¥DOCWSystem.exe • C*Jpath¥program.exe · WProgramFilesW#browser¥browser.exe · VProgramFilesW#browser #browser.exe	

⑤操作では、"接続を許可する"を選択し[次へ]をクリックします。
⑥プロファイルでは、"パブリック"を選択し[次へ]をクリックします。
⑦名前では、この受信規則の名前を入力し[完了]をクリックします。

※ポート番号の指定は、登録した受信規則のプロパティの[プロトコルおよびポ ート]タブから設定できます。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementから文書を受け取る場合は、プロトコルの種類にTCPを選択し、「ロ ーカルポート」のポート番号に31000を指定してください。また「リモートポー ト」には"すべてのポート"を指定してください。

8.8 「DocWays AutoFAX 設定」画面が開かない場合

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management をインストールした直後に「フローの新規作成」画面、または「フロー編集」画面の[配信先]の追加コンボボックスから"DocWays AutoFAX"を選択すると、警告画面が表示され「DocWays AutoFAX 設定」画面が開かないことがあります。このような場合、ApeosWare Flow Management がインストールされているマシンを再起動することで改善されます。

8.9 ファイルのダウンロード機能について

ApeosWare Management Suite 2 Flow Management Option をご利用の場合、宛先情報変換ファイル(CSV 形式、タブ区切り)およびテンプレート文書のダウンロード機能はご利用できません。

8.10 SMB プロトコルについて

ApeosWare Flow Management 1.4 以前のバージョンをご利用の場合、DocWays をインス トールしている環境の SMBv1 プロトコルは有効にしてください。SMBv1 プロトコルが無 効な場合、DocWays の宛先フォルダーへのユーザー認証は失敗します。

なお、ApeosWare Management Suite 2 Flow Management Option をご利用の場合は、 SMBv1プロトコルが無効でもDocWaysの宛先フォルダーへのユーザー認証は成功します。

8.11 ドメイン環境に関する注意事項

DocWaysのサーバーにログインするためのユーザーがドメインに参加している場合、[基本 情報]タブのユーザー名にはドメイン名とユーザー名をあわせてご指定ください。

- ・ユーザー名がusername、ドメイン名がmydomainの場合
 例) mydomain¥username
- ・ユーザー名がusername、ドメイン名がmydomain.comの場合
 - 例) username@mydomain.com

サポートお問い合わせは...

この商品のセットアップ・操作・機能などについてのお問い合わせは、 エイセル(株)製品サポート係までご連絡ください。

エイセル株式会社 製品サポート係

E-Mail FAX	info-docways@acel.co.jp 03-3230-6516
※受付時間	平日 9:30~12:00, 13:00~17:00 土日・祝祭日・当社指定休日を除く
URL	http://www.acel.co.jp

なお、お問い合わせいただく際には、以下の項目をご確認ください。

- •DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management、DocWays、 ApeosWare Flow Management のバージョン
- ●ご使用中のコンピューターの機種名および動作環境
- ●メモリ・ディスク容量や周辺機器の機種名など
- ●エラーメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの内容
- ●現象が起きた場合の詳細な手順がお分かりであれば、その内容

FAX 送信ソリューションソフトウェア ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management		
2014 年 4 月 2019 年 1 月 2019 年 3 月 2021 年 10 月	初版発行 1.6 版発行 1.7 版発行 1.8 版発行	
発 行 所 住 所 著 作 者	エイセル株式会社 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目1番地1 麹町311ビル ©Convright 2014-2021 by エイセル株式会社	

[本書の内容は、断りなく変更することがあります。]